

令和4年度事業計画

〔芸術文化センター関係〕

阪神・淡路大震災からの「心の復興、文化の復興」のシンボルとして、開館（H17年10月）以来16年間^①県民（ファン）の熱い支持を得ながら^②新たな試みに挑戦・成長し続け、^③継続して好調さを維持しながら、昨年は開館15周年を迎えることができ、^④震災からの文化の復興の拠点となる本格的な舞台芸術専門劇場として創造的復興の具体的姿を発信してきた。

令和4年度においても、^①県民の幅広い期待に応えるため、これまでの実績を踏まえた多彩で豊富なメニューを提供し、^②人々が元気で輝き続ける劇場（みんなの広場）であり続けるとともに、^③街のにぎわいを創出することにより、県民生活の質的向上・地域創生の一翼を担っていく。

これからも^①安全・安心・快適のための基盤整備（ハード）をはじめ、^②長期的な県収支フレーム（予算）をベースに継続的な充実財源の確保、^③選べる“楽しさ”の展開（ソフト）による「にぎわい」の安定・継続、^④優れた人材の確保による運営体制の継続を通じて、開館20周年、さらにその先においても活気ある劇場を実現する。

〔事業展開の基本コンセプト〕

- ① 多彩な舞台芸術の『創造・発信』
- ② 芸術性豊かなものから親近感に富むものまで、『幅広いニーズ』に応える上演
- ③ 舞台芸術の『普及』・県民の創造活動の支援

新型コロナウイルス感染症への対応

- ① 「新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」を策定し、感染症対策の徹底
- ② 「新型コロナウイルス感染症対策アドバイザー」として委嘱した専門家による感染症対策の監修

芸術文化センターの運営

1 芸術文化センター事業

(1) 佐渡芸術監督プロデュースオペラ・コンサート公演（KOBELCO 大ホール）

佐渡裕芸術監督ならではの企画による制作・上演。プロデュースオペラは全国的にも珍しい全8回ロングラン公演を展開。幅広いオペラファンの獲得・定着をめざす。

演 目	公演年月日	出演者等
歌劇「ラ・ボエーム」 (新制作16作目) (全4幕／イタリア語上演・ 日本語字幕付き／新制作) (公財)花王芸術・科学財団助成 [(公財)三菱UFJ信託芸術文化財団助 成(申請中)]	4. 7. 15 ～7. 24 (8公演)	演出・美術・衣裳デザイン:ダンテ・フェレッティ 美術:フランチェスカ・ロ・スキアーヴォ 指揮:佐渡 裕 演出補:マリーナ・ピアンキ 美術デザイナー補:マッシモ・ラッジ 照明:マルコ・フィリベック 合唱指揮:シルヴィア・ロッシ 出 演: (ダブルキャスト) ミミ=フランチェスカ・マンツォ、砂川涼子 ロドルフォ=リッカルド・デッラ・シユッカ、笛田博昭 ムゼッタ=エヴァ・トラーク、ソフィア・ムケドリシユヴァリ マルチェッロ=グスターボ・カスティーリョ、高田智宏 シヨナール=パオロ・イングラシヨッタ、町英和 コッリーネ=エウジェニオ・ディ・リエート、平野和 ペノア/アルチンドーロ=ロッコ・カヴァッルツィ、片桐直樹 パルピニョール=清原邦仁、水口健次 管弦楽:兵庫芸術文化センター管弦楽団 合 唱:ひょうごプロデュースオペラ合唱団、同児童 合唱団、ひょうご「ラ・ボエーム」合唱団

		〔関連公演〕 2 事業 10 公演 ＊「ハイライトコンサート～ええとこどり！」 県内 6 会場(洲本市 4/17、三田市 4/23、市川町 4/24、丹波篠山市 5/8、福崎町 5/14、西脇市 5/15) と芸文センター(4/13～14)で実施 ＊ ワンコイン・プレ・レクチャー(同日 2 回) 6/2 (講師：中村敬一) ＊前夜祭 7/14(高松公園)主催:西北活性化協議会
ジルヴェスター・ガラ・コン サート 2022	4. 12. 31 (1公演)	指 揮：鈴木秀美 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団 連 携：(公財)神戸市民文化振興財団
合 計		4 事業 1 9 公演

※芸術文化センター管弦楽団演奏会は別記

(2) 他館との連携による自主制作オペラ事業 (阪急 中ホール)

演 目	公演年月日	出演者等
オペラ「夕鶴」 (全 1 幕／日本語上演・日本語 字幕) 東大阪公演 [共催] ※令和 3 年度 (2022 年 3 月) に当セン ターで上演したプロダクションの遠 征公演。 ※会場：東大阪市文化創造館 Dream House 大ホール	4. 4. 2 (1公演)	音 楽：團伊玖磨 作：木下順二 指 揮：栗辻聡 演 出：岩田達宗 出 演：つう＝石橋栄実 与ひょう＝清水徹太郎 運ず＝晴雅彦 惣ど＝松森治 児童合唱：夙川エンジェルコール 管弦楽：ザ・カレッジ・オペラハウス管弦団 主 催：東大阪市文化創造館 共 催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター
オペラ「森は生きている」 (室内オーケストラ版／日本 語上演・日本語字幕付)	5. 3. 25 ～26 (2公演)	原 作：サムイル・マルシャーク 訳：湯浅芳子 台本・作曲：林光 オケストレーション：吉川和夫 指 揮：沼尻竜典 演 出：中村敬一 美 術：増田寿子 衣 裳：半田悦子 照 明：山本英明 音 響：小野隆浩 舞台監督：牧野優 出 演：びわ湖ホール声楽アンサンブル 管弦楽：日本センチュリー交響楽団 主 催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター 制 作：滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール、 兵庫県立芸術文化センター 提 携：滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール
合 計		2 事業 3 公演

(3) 独自の企画制作・プロデュースによる演劇公演／兵庫県ゆかりの古典芸能（阪急 中ホール）

芸文センター独自に企画・制作し上演する良質で多彩な演目により新たなファンも発掘

演 目		公演年月日	出演者等
朗読劇	自主製作朗読劇 100年の詩物語	4. 11. 23 (1公演)	作・演 出：土田英生
古典芸能 (河内特別 参与企画)	新作文楽 ゴスペル・イン・文楽 ～イエス・キリスト～	4. 7. 6 (1公演)	お 話：梅原 彰（夙川カトリック教会神父） トーク：豊竹呂太夫、梅原 彰、河内厚郎 出 演：豊竹呂太夫、鶴澤清友、豊松清十郎ほか
	染殿寄席（そめどのよせ） （神戸女学院小ホール）	4. 9. 10 (1公演)	出 演：林家染二、月亭文都、林家花丸、 露の団姫、吉田光華 トーク：河内厚郎（兵庫県立芸術文化センター特別参与） 辰馬朱満子（白鷹緑水苑）
こども向け コンサート	宮川彬良&アンサンブル・ベガ こどもの日スペシャル♪ （KOBELCO 大ホール）	4. 5. 5 (1公演)	出 演：宮川彬良&アンサンブル・ベガ
社会包摂 プログラム	知的・発達障がい児（者） にむけての劇場体験プログラム 劇場ってたのしい！ （KOBELCO 大ホール）	5. 3. 12 (1公演)	企画・コーディネート：国際障害者交流センタービッグ・アイ 制 作：兵庫県立芸術文化センター
合 計		5 事業	5 公演

(4) 幅広いニーズに応える公演（自主企画制作・招聘・提携・共催事業等）

① 国内外オーケストラ・オペラ・バレエ・室内楽公演等

音楽マネジメント事務所等との連携により、世界水準のオーケストラ、オペラ、バレエ公演をはじめ、様々な国の優れた舞台芸術を上演し、観客の期待に応えるとともに、大規模舞台芸術専門劇場としての存在感をアピール

	演 目	公演年月日	出演者等
世界のオーケストラ・合唱	ヤニック・ネゼ＝セガン指揮 METオーケストラ(メトロポリタン歌劇場管弦楽団) [「デジタル」/関西「デジタル」放送共催] (KOBELCO 大ホール)	4. 6. 25 ～26 (2公演)	指 揮：ヤニック・ネゼ＝セガン 管弦楽：METオーケストラ(メトロポリタン歌劇場管弦楽団) ほか
	ズービン・メータ指揮 バイエルン放送交響楽団 (KOBELCO 大ホール)	4. 11. 27 (1公演)	指 揮：ズービン・メータ 管弦楽：バイエルン放送交響楽団
	ウィーン・シュトラウス・フェスティヴァル・オーケストラ (KOBELCO 大ホール)	5. 1. 7 (1公演)	管弦楽：ウィーン・シュトラウス・フェスティヴァル・オーケストラ
世界の巨匠	シプリアン・カツァリス (KOBELCO 大ホール)	4. 4. 23 (1公演)	ピアノ：シプリアン・カツァリス
	平崎真弓&ロレンツォ・ギエルミ (神戸女学院小ホール)	4. 6. 5 (1公演)	バロック・ヴァイオリン：平崎真弓 チェンバロ：ロレンツォ・ギエルミ
	ダン・タイ・ソン ピアノ・リサイタル (KOBELCO 大ホール)	4. 9. 1 (1公演)	ピアノ：ダン・タイ・ソン
	アントワン・タメステイ&鈴木優人 (神戸女学院小ホール)	4. 10. 10 (1公演)	ヴァイオラ：アントワン・タメステイ チェンバロ：鈴木優人
	マリオ・ブルネロ (神戸女学院小ホール)	4. 11. 5 (1公演)	チェロ&チェロ・ピッコロ：マリオ・ブルネロ
	ロナルド・ブラウティハム (神戸女学院小ホール)	4. 11. 26 (1公演)	フォルテピアノ：ロナルド・ブラウティハム
	堀米ゆず子&ヴァレリー・アフアナシエフ (KOBELCO 大ホール)	4. 12. 4 (1公演)	ヴァイオリン：堀米ゆず子 ピアノ：ヴァレリー・アフアナシエフ
	カール＝ハインツ・シュッツ&吉野直子 (KOBELCO 大ホール)	5. 2. 12 (1公演)	フルート：カール＝ハインツ・シュッツ ハープ：吉野直子
日本を代表する音楽家たち	仲道郁代 (KOBELCO 大ホール)	4. 5. 22 (1公演)	ピアノ：仲道郁代
	新イタリア合奏団&村治佳織 (KOBELCO 大ホール)	4. 11. 12 (1公演)	出 演：新イタリア合奏団&村治佳織(ギター)
	尾高忠明指揮 大阪フィルハーモニー交響楽団 (KOBELCO 大ホール)	4. 11. 13 (1公演)	指 揮：尾高忠明 管弦楽：大阪フィルハーモニー交響楽団
	上岡敏之 (神戸女学院小ホール)	4. 4. 9 (1公演)	ピアノ：上岡敏之

日本を代表する音楽家たち	荘村清志・福田進一・鈴木大介・大萩康司 (神戸女学院小ホール)	4. 6. 19 (1公演)	出 演：荘村清志・福田進一・鈴木大介 ・大萩康司 (ギター)
	河村尚子 シューベル ト・プロジェクト第2回 (神戸女学院小ホール)	4. 9. 19 (1公演)	ピアノ：河村尚子
	児玉桃 メシアン・プロジェクト (神戸女学院小ホール)	4. 12. 11 (1公演)	ピアノ：児玉桃 共 演：竹澤恭子 (ヴァイオリン) 他
	宮川彬良&アンサンブル・ベガ ニューイヤー コンサート (神戸女学院小ホール)	5. 1. 6 (1公演)	出 演：宮川彬良&アンサンブル・ベガ
	前橋汀子&弦楽アンサンブル (KOBELCO 大ホール)	5. 1. 21 (1公演)	出 演：前橋汀子 (ヴァイオリン) &弦楽アン サンブル
	小菅優 (神戸女学院小ホール)	5. 3. 19 (1公演)	ピアノ：小菅優
その他クラシック・コンサート、リサイタル等	高本一郎 リュートの楽園 (神戸女学院小ホール)	4. 4. 24 (1公演)	リュート：高本一郎 ほか
	サラ・オレイン [民音共催] (KOBELCO 大ホール)	4. 5. 27 (1公演)	出 演：サラ・オレイン ゲスト：岡本知高 (ソプラニスタ)
	上野耕平 (神戸女学院小ホール)	4. 5. 28 (1公演)	サクソフォン：上野耕平
	のだめカンタービレの 音楽会 [関西テレビ共催] (KOBELCO 大ホール)	4. 7. 30 ～31 (2公演)	管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団
	アリーナ・イブラギモヴァ (KOBELCO 大ホール)	4. 9. 10 (1公演)	ヴァイオリン：アリーナ・イブラギモヴァ
	タカーチ弦楽四重奏 団 (神戸女学院小ホール)	4. 10. 1 (1公演)	出 演：タカーチ弦楽四重奏団
	マリコとオペラ！ ～作家・林真理子が誘う魅 惑のオペラ～ [関西テレビ放送共催] (KOBELCO 大ホール)	4. 11. 30 (1公演)	出 演：林真理子 (作家) 小林沙羅 (ソプラノ) 西村悟 (テノール) ほか
	関西二期会 オペラ 「魔笛」 [関西二期会共催] (阪急中ホール)	5. 2. 25 ～26 (2公演)	出 演：関西二期会
	オーケストラ×シネマ チャップリン「街の灯」 (KOBELCO 大ホール)	5. 3. 4 (1公演)	管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団

その他クラシック・コンサート、リサイタル	ルートヴィヒ・チェンバー・プレイヤーズ・シュトゥットガルト (神戸女学院小ホール)	4. 10. 2 (1公演)	出演：ルートヴィヒ・チェンバー・プレイヤーズ・シュトゥットガルト
	ベルチャ弦楽四重奏団 (神戸女学院小ホール)	4. 10. 8 (1公演)	出演：ベルチャ弦楽四重奏団
	東京バレエ団「くるみ割り人形」 (KOBELCO 大ホール)	4. 12. 23 (1公演)	出演：東京バレエ団 演奏：大阪フィルハーモニー交響楽団
	イリーナ・メジューエワ (神戸女学院小ホール)	5. 1. 29 (1公演)	ピアノ：イリーナ・メジューエワ
	テレマン室内オーケストラ (神戸女学院小ホール)	5. 3. 9 (1公演)	出演：テレマン室内オーケストラ
合 計			35事業 38公演

※共催事業：①芸文センターのコンセプトに合致、ラインナップとバランス・整合・補強するもので、②共催者からの提案・事業誘致（営業）によって選定し、③広報券売協力に加え、収支リスク負担・施設設備使用料負担について条件協議を行う事業

② 国内外演劇・ミュージカル・古典芸能公演等（阪急 中ホール）

劇場・劇団とのネットワークにより、ストレートプレイ、一人芝居などの演劇をはじめ、ミュージカル、ダンス、狂言、落語など、幅広い層が楽しめる良質で多彩な演目を提供するとともに、シアターコンサート等、芸術文化センターならではの企画を展開

	演 目	公演年月日	出演者等
演劇・ミュージカル等（良質な作品制作実績のある公共劇場との連携）	お勢、断行 *世田谷パブリックシアターとの連携	4. 5. 28 ～29 (3公演)	演出：倉持裕 出演：倉科カナ、福本莉子、江口のりこ ほか
	ロビー・ヒーロー *新国立劇場との連携	4. 6. 5 (1公演)	演出：桑原裕子 出演：中村蒼、岡本玲、板橋駿谷 ほか
	夜の女たち *KAAT 神奈川芸術劇場との連携	4. 10. 14 ～16 (3公演)	演出：長塚圭史 出演：調整中
	住所まちがい *KAAT 神奈川芸術劇場との連携	4. 10. 22 ～23 (2公演)	演出：白井晃 出演：仲村トオル、渡辺いつけい、田中哲司
	夏の砂の上 *世田谷パブリックシアターとの連携	4. 11. 26 ～27 (3公演)	演出：栗山民也 出演：田中圭、西田尚美 ほか
	蜘蛛巣城 *KAAT 神奈川芸術劇場との連携	5. 3. 17 ～19 (4公演)	演出：赤堀雅秋 出演：調整中

演劇・ミュージカル等 (幅広い層が楽しめる良質で多彩な演目)	加藤健一事務所 「サンシャイン・ボーイズ」	4. 5. 7 (1公演)	出 演：加藤健一、佐藤B作 ほか
	セールスマンの死	4. 5. 19 ～22 (5公演)	出 演：段田安則、鈴木保奈美、福士誠治、 林遣都 ほか
	黄昏	4. 6. 11 ～12 (2公演)	演 出：鵜山仁 出 演：高橋恵子、瀬奈じゅん、松村雄基、 石田圭祐 ほか
	恭しき娼婦	4. 6. 25 ～26 (3公演)	演 出：栗山民也 出 演：奈緒、風間俊介 ほか
	二番街の囚人	4. 7. 2 (1公演)	演 出：シライケイタ 出 演：村田雄浩、保坂知寿、広岡由里子 ほか
	室温 [関西テレビ放送共催]	4. 7. 22 ～24 (4公演)	演 出：河原雅彦 出 演：古川雄輝、平野綾 ほか
	野鴨	4. 9. 22 ～25 (6公演)	演 出：上村聡史 出 演：調整中
	裸足の散歩	4. 10. 1 ～2 (2公演)	演 出：元吉庸泰 出 演：加藤和樹、戸田恵子 ほか
	A NUMBER	4. 10. 29 (2公演)	出 演：上村聡史 出 演：戸次重幸、益岡徹 ほか
	白石加代子の百物語	4. 11. 30 (1公演)	演 出：鴨下信一 出 演：白石加代子
	小川絵梨子企画	4. 12. 3 ～4 (2公演)	演 出：小川絵梨子 出 演：調整中
	KERA MAP	4. 12. 9 ～11 (4公演)	演 出：ケラリーノ・サンドロヴィッチ 出 演：調整中
	リトル・ゾンビガール	4. 1. 8 (1公演)	出 演：高橋ひかる、石井杏奈 ほか
二兎社	5. 1. 14 (1公演)	演 出：永井愛 出 演：調整中	

ミ ニ ユ ー ジ カ ル	ネクスト トゥ ノーマ ル (東宝)	4. 4. 21 ～24 (7公演)	出 演：安蘭けい、望海風斗 (ダブルキャスト) ほか
	四月は君の嘘 (東宝) [梅田芸術劇場共催] (KOBELCO 大ホール)	4. 6. 16 ～18 (4公演)	出 演：小関裕太、木村達成 (ダブルキャスト)
	オズの魔法使い [関西テレビ放送共催]	4. 9. 16 ～19 (6公演)	出 演：調整中
	キング・アーサー (ホリプロ) [梅田芸術劇場共催] (KOBELCO 大ホール)	5. 2. 24 ～26 (4公演)	出 演：調整中
伝 統 芸 能	茂山狂言会	4. 4. 3 (2公演)	出 演：茂山千五郎 ほか
	Cutting Edge Kyogen	4. 7. 9 (1公演)	出 演：茂山千五郎 ほか
	万作萬斎狂言	4. 11. 10 ～11 (2公演)	出 演：野村万作、野村萬斎 ほか
	淡路人形浄瑠璃特別公演	5. 1. 21 (1公演)	出 演：淡路人形座
落 語 会	月亭方正独演会	4. 4. 10 (1公演)	出 演：月亭方正
	笑福亭松喬独演会	4. 6. 18 (1公演)	出 演：笑福亭松喬
	春風亭昇太独演会	4. 7. 18 (1公演)	出 演：春風亭昇太
	桂吉弥独演会	4. 8. 7 (1公演)	出 演：桂 吉弥
	好敵手の会	4. 9. 3 (1公演)	出演：笑福亭鉄瓶、桂佐ん吉、笑福亭べ瓶、 桂吉の丞
	特選落語競演会	4. 11. 12 (2公演)	出 演：調整中
	柳家喬太郎独演会	4. . 12. 17 (2公演)	出 演：柳家喬太郎
	笑福亭鶴瓶独演会	調整中 (2公演)	出 演：笑福亭鶴瓶
桂文珍独演会	調整中 (2公演)	出 演：桂文珍	

舞踊・ダンス	ピーピング・トム	5. 2. 12 (1公演)	出 演：ピーピング・トム
合 計 38事業 92公演			

③ 舞台の楽しみを広げる音楽オリジナル『シリーズ企画』

世界一流の室内楽団をはじめ、地元出身で幅広い活躍を続ける音楽家や、世界の音楽・ダンスを集めた「世界音楽図鑑」、「古楽の愉しみ」によるアーリーミュージック、ジャズなどシリーズ企画により、芸術文化センターならではの良質で親しみやすい幅広いジャンルの公演で音楽系ファンの裾野を広げる。

	演 目	公演年月日	出演者等
世界音楽図鑑	ドリーマーズ・サーカス ～北欧デンマーク・アンデル セン童話の調べ (阪急中ホール)	4. 6. 17 (1公演)	出 演：ドリーマーズ・サーカス
	タウトウメイタス (阪急中ホール)	4. 7. 3 (1公演)	出 演：タウトウメイタス(ラトヴィア)
	沖仁 (阪急中ホール)	4. 8. 27 (1公演)	出 演：沖仁 (フラメンコ・ギター) ほか
	カルデミンミット& アン・サリー (神戸女学院小ホール)	4. 12. 10 (1公演)	出 演：カルデミンミット(フィンランド) アン・サリー(ヴォーカル)
古楽の愉しみ	平崎真弓&ロレンツォ・ギ エルミ(再掲) (神戸女学院小ホール)	4. 6. 5 (1公演)	出 演：平崎真弓 (バロック・ヴァイオリン) ロレンツォ・ギエルミ (チェンバロ)
	高田泰治 (神戸女学院小ホール)	4. 9. 25 (1公演)	出 演：高田泰治 (チェンバロ&フォルテピアノ) ほか
	ロナルド・ブラウティハ ム (再掲) (神戸女学院小ホール)	4. 11. 26 (1公演)	出 演：ロナルド・ブラウティハム (フォルテピ アノ)
	ジュスタン・テイラー (神戸女学院小ホール)	5. 1. 8 (1公演)	出 演：ジュスタン・テイラー (チェンバロ)
	レ・ヴォワ・ユメヌ (神戸女学院小ホール)	5. 2. 11 (1公演)	出 演：レ・ヴォワ・ユメヌ (ヴィオール・ア ンサンブル) ほか
	マリアン・コンソート (神戸女学院小ホール)	5. 2. 23 (1公演)	出 演：マリアン・コンソート (ア・カペラ)
	川口成彦 (神戸女学院小ホール)	5. 3. 11 (1公演)	フォルテピアノ：川口成彦

クリスマス・ジャズ・フェスティバル	アトリエ澤野スペシャル (神戸女学院小ホール)	4. 12. 9 (1公演)	出 演： 調整中
	北村英治カルテット (神戸女学院小ホール)	4. 12. 14 (1公演)	出 演：北村英治 (クラリネット) ほか
	Super Brass Stars feat. PAC オーケストラ (KOBELCO 大ホール)	4. 12. 17 (1公演)	出 演：中川英二郎 (トロンボーン)、 エリック・ミヤシロ (トランペット)、 本田雅人 (サクソ) 大井剛史 (指揮) 兵庫芸術文化センター管弦楽団
	ジャズヴォーカル企画 (阪急中ホール)	4. 12. 20 (1公演)	出 演：調整中
	アロージャズオーケストラ & 見砂和照と東京キューバンボーイズ (KOBELCO 大ホール)	4. 12. 21 (1公演)	出 演：アロージャズオーケストラ、 見砂和照と東京キューバンボーイズ
ステップコンサート	高田泰治 (チェンバロ&フォルテピアノ) (再掲) (神戸女学院小ホール)	4. 9. 25 (1公演)	出 演：高田泰治 (チェンバロ&フォルテピアノ) ほか
河村尚子シューベルト・プロジェクト	河村尚子 (シューベルト・プロジェクト第2回 (再掲) (神戸女学院小ホール)	4. 9. 19 (1公演)	出 演：河村尚子 (ピアノ)
子ども向けコンサート・バレエ	宮川彬良&アンサンブル・ベガ こどもの日スペシャル (再掲) (KOBELCO 大ホール)	4. 5. 5 (1公演)	出 演：宮川彬良&アンサンブル・ベガ
	子どものためのバレエ「ドン・キホーテの夢」東京バレエ団 (阪急 中ホール)	4. 8. 11 (2公演)	出 演：東京バレエ団
合 計 20事業 21公演			

(5) 舞台芸術の普及・県民の創造活動支援

① プロムナード・コンサート、ワンコイン・コンサート等

(ア) プロムナード・コンサート (KOBELCO 大ホール)

人気・実力を兼ね備えた国内演奏家や国外アーティストを招き、親しみやすいプログラムによる低額入場料 (2,000 円程度) 公演を開催し、広範囲な集客 (裾野の拡大) をめざす。

演 目	公演年月日	出演者等
シプリアン・カツァリス (再掲)	4. 4. 23 (1公演)	出 演：シプリアン・カツァリス(ピアノ)
菊池洋子	4. 9. 11 (1公演)	出 演：菊池洋子(ピアノ)
金川真弓	4. 10. 22 (1公演)	出 演：金川真弓 (ヴァイオリン)
アレクサンダー・コ布林	4. 11. 3 (1公演)	出 演：アレクサンダー・コ布林 (ピアノ)
新イタリア合奏団&村治佳織 (再掲)	4. 11. 12 (1公演)	出 演：新イタリア合奏団&村治佳織 (ギター)
アン・セット・シス	4. 11. 23 (1公演)	出 演：山中惇史、高橋優介 (ピアノデュオ)
前橋汀子&弦楽アンサンブル (再掲)	5. 1. 21 (1公演)	出 演：前橋汀子 (ヴァイオリン) & 弦楽アンサンブル
カール=ハインツ・シュッツ &吉野直子 (再掲)	5. 2. 12 (1公演)	出 演：カール=ハインツ・シュッツ (フルート) 吉野直子 (ハープ)
合 計		8 事業 8 公演

(イ) ワンコイン・コンサート (入場料 500 円) (KOBELCO 大ホール)

県内外音楽コンクール受賞者など兵庫・関西ゆかりの新進気鋭の音楽家による 60 分のコンサートを平日の昼間に開催し、広範囲な集客 (裾野の拡大) をめざす。

出 演 者	公演年月日	出演者等
坂東裕香(ホルン)	4. 4. 12 (1公演)	大阪音楽大学卒業。2015 年に渡独、ザ・カレッジオペラハウス管弦楽団を経て神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席ホルン奏者。
坂本 彩(ピアノ)	4. 5. 12 (1公演)	明石市出身、在住。東京藝術大学卒業後、ベルリン芸術大学及び同大学院修了。第 21 回松方ホール音楽賞、令和 2 年度坂井時忠音楽賞受賞。東京藝術大学非常勤講師。

PAC橋本歩(ヴィオラ)	4. 6. 23 (1公演)	神奈川県出身。桐朋オーケストラ・アカデミー修了。平成25年度優秀学生賞受賞。2018年9月より兵庫芸術文化センター管弦楽団フォアシュピラーとして活動中。
吉村結実(オーボエ)	4. 8. 10 (1公演)	大阪府出身。東京音楽大学、パリ地方音楽院卒業。日本音楽コンクール第1位受賞。兵庫芸術文化センター管弦楽団を経て、現在NHK交響楽団首席オーボエ奏者。
林 周雅(ヴァイオリン)	4. 9. 13 (1公演)	東大阪市出身。東京藝術大学卒業。スーパーキッズ・オーケストラにてコンサートマスターを務める。「題名のない音楽会」プロジェクト「題名プロ塾」にてプロデビュー
中田 麦(マリンバ)	4. 10. 14 (1公演)	2012年度青山音楽賞新人賞受賞。第28回・31回日本管打楽器コンクールマリンバ部門第2位入賞。
湯浅貴斗(バス)	4. 11. 11 (1公演)	奈良県出身。大阪音楽大学卒業、同大学院声楽研究室オペラ系修了。新国立劇場オペラ研修所第22期生在籍中。
サイモン・ポレジャエフ (コントラバス)	4. 12. 2 (1公演)	モスクワ生まれ、ニューヨーク育ち。ジュリアード音楽院大学院修士課程修了。同年、兵庫芸術文化センター管弦楽団入団。現在、大阪フィルハーモニー交響楽団トップ奏者。
水野智絵(ソプラノ)	5. 2. 10 (1公演)	堺市出身。大阪音楽大学音楽専攻科修了。オペラでは「ちゃんちき」おとっさまの化けた美人役等出演。LesFleurs(花の会)メンバー。堺シティオペラアーティスト会員。
水谷友彦(ピアノ)	5. 3. 17 (1公演)	神戸市出身。大阪音楽大学演奏家特別コース首席卒業、同大学院修士課程修了。ハンガリー国立リスト・フェレンツ音楽大学で研鑽を積む。第27回宝塚ベガ音楽コンクール2位。
合 計		10事業 10公演

<音楽事業アドバイザー会議>

センターの主催する音楽事業の中で、兵庫・関西ゆかりの若手アーティスト・人材を登用する普及事業(ワンコイン・コンサート等)の出演者候補について発掘・審議するため、音楽事業アドバイザー会議を開催

(アドバイザー)

中村孝義(大阪音楽大学理事長)、響敏也(音楽評論家)、藤本賢市(神戸新聞社)、田中博子(毎日新聞大阪本社学芸部記者)

(ウ) ワンコイン・コンサートNO.1アーティスト アンコール・リサイタル

2021年の出演アーティストの中から選出(神戸女学院小ホール)

演 目	公演年月日	出演者等
吉本梨乃 ヴァイオリン・リサイタル	5. 3. 8 (1公演)	吉本梨乃(ヴァイオリン)、林典子(ピアノ)
合 計		1事業 1公演

(エ) ワンコイン・コンサート出演者お披露目 新春・顔見世コンサート

次年度ワンコイン・コンサート出演者と新年を祝う芸文センター新企画のコンサート
(KOBELCO 大ホール)

演 目	公演年月日	出演者等
次年度ワンコイン・コンサート出演者お披露目 新春・顔見世コンサート	5. 1. 3 (1公演)	次年度ワンコイン・コンサート出演者
合 計		1 事業 1 公演

(オ) ワンコイン・プレ・レクチャー(阪急 中ホール)

芸術監督プロデュースオペラをより楽しんでいただくため、オペラ歌手によるハイライトコンサートを開催。また、専門家、演奏家等のレクチャー・トークを実施し、広範囲な集客(裾野の拡大)をめざす。

演目	公演年月日	出演者等
「ラ・ボエーム」 ハイライトコンサート ～ええとこどり！	4. 4. 13 ～14 (2公演)	出 演：森井美貴、四方典子、島影聖人、榎貴志、 伊原敏行 構成・ステージング：河原義
	4. 4. 17	洲本市文化体育館 文化ホール
	4. 23	三田市郷の音ホール (小)
	4. 24	市川町文化センターひまわりホール
	5. 8	丹波篠山市立田園交響ホール
	5. 14	福崎町エルデホール
	5. 15 (6公演)	西脇市立音楽ホールアピカホール
「ラ・ボエーム」 ワンコイン・プレ・レクチャー (阪急中ホール)	4. 6. 2 (2公演)	講 師：中村敬一 (演出家) 出 演：砂川涼子、掛川歩美
合 計		2 事業 10 公演 6 公演 (県内公演)

(カ) ドリーム・コンチェルト (KOBELCO 大ホール)

ワンコイン・コンサート出演者と芸術文化センター管弦楽団によるスペシャル・
コンサートを開催

演 目	公演年月日	出演者等
ドリーム・コンチェルト *冠協賛：西宮ロータリークラブ H24年から11回目 協賛継続	4. 4. 9 (1公演)	指 揮：栗辻聡 出 演：佛田明希子 (オーボエ)、斉戸英美子 (ソ プラノ)、小林壺成 (ヴァイオリン) 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団
合 計		1 事業 1 公演

(キ) 舞台芸術団体フェスティバル(共催)(県域団体)

演 目		公演年月日	主催団体
KOBELCO 大ホール	2022年度兵庫県合唱 コンクール小学校・中 学校・高等学校の部	4. 8. 20 (1公演)	兵庫県合唱連盟
	ふれあい文化の祭典 「ブラスフェスティ バル」	4. 9. 19 (1公演)	兵庫県吹奏楽連盟
	兵庫県音楽活動推進 会議創設 30 周年記念 コンサート	4. 9. 25 (1公演)	兵庫県音楽活動推進会議
阪急中 ホール	劇場へ行こう 第5 弾! 「ベニスの商人」	4. 8. 21 (1公演)	兵庫県劇団協議会、劇団自由人会
	ふれあい文化の祭典 「ひょうご邦楽の祭 典」	4. 8. 28 (1公演)	兵庫県箏絃連盟
	吟詠フェスティバル	4. 9. 4 (1公演)	兵庫県吟詠連盟
神戸女 学院小 ホール	第 44 回阪神ジュニア 音楽コンクール	4. 8. 21 (1公演)	阪神南文化振興団体連絡協議会/尼崎市文化団体協議会
	ふれあい文化の祭典 ひょうご演劇祭	4. 8. 27 (1公演)	兵庫県劇団協議会
	エンターテイメント のおもちゃ箱	4. 9. 3 (1公演)	兵庫県劇団協議会/G・E-JAPAN
	神戸クラシック協会 設立 35 周年記念コン サート	4. 9. 11 (1公演)	兵庫県音楽活動推進会議/神戸クラシック協会
	ふれあい文化の祭典 「アンサンブルフェ スティバル in ひょう ご」	4. 9. 18 (1公演)	兵庫県音楽活動推進会議
ルネサンス・バロック 音楽とコートダンス のひとつ	4. 9. 23 (1公演)	兵庫県音楽活動推進会議/安藝榮子と仲間たちチ ャリティコンサート	
合 計		12 事業	12 公演

② ピッコロ劇団公演（共催）（阪急 中ホール）

演 目	公演年月日	出演者等
ファミリー劇場 「飛んで孫悟空」	4. 12. 24 ～25 (3公演)	作 　：別役実 演 出：平井久美子 出 演：ピッコロ劇団員 ほか
兵庫県立ピッコロ劇団 第75回公演 ピッコロシ アタープロデュース 「三文オペラ」	5. 2. 17 ～19 (5公演)	作 　：ベルトルト・ブレヒト 演 出：松本修 出 演：ピッコロ劇団員 ほか
合 計		2事業 8公演

2 兵庫芸術文化センター管弦楽団事業

兵庫県立芸術文化センター専属のプロオーケストラとして、毎年世界各地でオーディションを実施し、優秀な若手演奏家を中心に構成する兵庫ならではのユニークな『フレッシュでインターナショナル』なオーケストラ。また、兵庫から世界に人材を育て発信する『オーケストラアカデミー』の要素も有する「兵庫芸術文化センター管弦楽団」では、①定期演奏会の開催、プロデュースオペラ公演への出演をはじめ、②室内楽演奏会や③県内各地でのアウトリーチ活動など、「パブリックシアター」の顔にふさわしい多彩な活動を展開していく。(県内41市町一巡達成 H26.4月)

- ① コアメンバー (10型2管) をベースに、レジデント・プレイヤーを加え12型(標準)、アソシエイト・プレイヤーを加え14型(大規模編成)にも安定的・フレキシブルに対応。
- ② クオリティの高い演奏を提供するとともにアカデミーとしてコアメンバーをリードするため弦パート・トップ中心に「ゲストトップ」奏者(国内オーケストラ首席級)を招聘
 - ・芸術監督：佐渡裕 ・レジデント・コンダクター：岩村力
 - ・コンサートマスター：四方恭子、田野倉雅秋、豊嶋泰嗣 ・ミュージック・アドバイザー：水島愛子
 - ・コアメンバー：14パート48人(10型2管編成、35歳以下、3年契約、全国・世界各地でのオーディションで選抜)
(令和3年9月現在：9カ国 14パート40人 平均年齢27.6歳)

① 演奏会活動

フレッシュでインターナショナルなオーケストラの魅力ある演奏会を実施

(ア) 定期演奏会 (KOBELCO 大ホール)

佐渡裕芸術監督をはじめ、世界一流の客演指揮者やソリストを招聘し、古典から現代曲までの魅力あるレパートリーを、大小さまざまな編成で演奏し、質の高い芸術性を追求する。

演 目	公演年月日	出演者等
[2021-2022 シーズン] 第132回 プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲第1番	4. 4. 15 ～17 (3公演)	指 揮：井上道義 ヴァイオリン：服部百音
第133回 ショパース：クラリネット協奏曲	4. 5. 13 ～15 (3公演)	指 揮：佐渡 裕 クラリネット：ラスロ・クティ (元コアメンバー)
第134回 ショスタコーヴィチ：ピアノ協奏曲第2番	4. 6. 10 ～12 (3公演)	指 揮：下野竜也 ピアノ：プラメナ・マンゴーヴァ
[2022-2023 シーズン] 第135回 ブルックナー：交響曲第6番	4. 9. 16 ～18 (3公演)	指 揮：佐渡 裕
第136回 ハチャトゥリアン：ヴァイオリン協奏曲	4. 10. 7 ～9 (3公演)	指 揮：ミハヤエル・ザンデルリンク ヴァイオリン：木嶋真優
第137回 ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第3番	4. 11. 18 ～20 (3公演)	指 揮：カーチュン・ウオン ピアノ：三浦謙司
第138回 マーラー：交響曲第7番	5. 1. 13 ～15 (3公演)	指 揮：佐渡 裕
第139回 ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第3番	5. 2. 17 ～19 (3公演)	指 揮：ユベール・スダーン ピアノ：児玉麻里

第140回 トヴァルザーク：チェロ協奏曲	5. 3. 24 ～26 (3公演)	指揮：準・メルクル チェロ：カミーユ・トマ
第141回 エルガー：ヴァイオリン協奏曲	5. 5. 26 ～28 (3公演)	指揮：下野竜也 ヴァイオリン：三浦文彰
第142回 ストラヴィンスキー：バレエ音楽「火の鳥」(原典版)	5. 6. 16 ～18 (3公演)	指揮：井上道義 舞踊：森山開次
第143回 ヒンデミット：室内音楽第5番	5. 8. 4 ～6 (3公演)	指揮：佐渡 裕 ヴァイオリン：谷口朱佳
合 計 9事業 27公演		

*2021-2022 シーズン定期会員数 1,964 (金曜 690, 土曜 673, 日曜 601)

(イ) 特別演奏会

名曲コンサート、ファミリーコンサート、ポップスコンサートなど親しみやすい公演により幅広い観客ニーズに応え、クラシックファン層を広げる。

演 目	公演年月日	出演者等
PAC 春休みワカワカ オーケストラ・コンサート (KOBELCO 大ホール)	4. 4. 2 (1公演)	指揮：岩村 力 ピアノ：古海行子
リサイタルシリーズ (神戸女学院小ホール)	4. 6. 16 (1公演)	フルート：フランチェスカ・ブルーノ バスーン：トミー・リウ
合 計 2事業 2公演		

(ウ) 室内楽演奏会 (神戸女学院小ホール)

バロックから現代曲まで、さまざまなレパートリーを多様な編成で演奏し、室内楽の魅力伝える。芸術文化センター管弦楽団コアメンバーと特別契約奏者との組み合わせ。幅広い編成で高度な公演を実現

演 目	公演年月日	出演者等
室内楽シリーズ	第70回 金管楽器セクション	4. 4. 23 (1公演) トランペット：ワタビ・アノ・クリストフオリ (元コアメンバー)
	第71回 木管楽器セクション	4. 5. 7 (1公演) クラリネット：ラスロ・クティ (元コアメンバー)
	第72回 打楽器セクション	4. 6. 25 (1公演) パーカッション：菅原 淳
	第73回 弦楽器セクション	4. 8. 6 (1公演) ヴァイオリン：日下紗矢子
	第74回 調整中	5. 3. 18 (1公演) 調整中
合 計 5事業 5公演		

(エ) センター事業への出演 6事業 14公演 (再掲)

佐渡芸術監督のプロデュースするオペラ・コンサート公演等で演奏

② 体験教育・普及活動

(ア) 青少年芸術体験事業「わくわくオーケストラ教室」の実施 40公演 (KOBELCO 大ホール)

兵庫県内の中学1年生(約4万5千人全員)を対象に、本格的な交響楽団の演奏に親しむ機会を設けることにより、これからの社会を担う生徒の豊かな感性、創造力を育むとともに、音楽教育(体験教育)の振興を図る。

*新型コロナウイルスのため遠方からの来場が困難な但馬地域の学校を対象に、令和4年度のみ同地域のホール(やぶ市民交流広場)で実施

【企画】佐渡裕芸術監督 【指揮】岩村力 ほか

【内容】第1部 参加・体験コーナー:ホールの紹介、楽器紹介
第2部 鑑賞コーナー:楽曲の紹介、演奏会

【公演時間】約1時間(70分)

【時期】令和4年5月25日(水)~令和5年1月26日(木)

(イ) アウトリーチ活動

芸術文化センターからの遠隔地域や日頃音楽に触れる機会の少ない方々に音楽の魅力・感動を伝え、音楽の普及と楽団のPRを図るため、アウトリーチ活動を展開し、活動先については公募制度も導入・実施(医療機関、福祉施設、小中高等学校、参画と協働を実践する地域活動への参加等)

*平成29年度~小学校・特別支援学校を対象としたアウトリーチ(公募により募集)を重点実施
*令和3年度~中学・高校吹奏楽部を対象に遠方でも可能なリモートレッスンにより演奏等を指導

(ウ) スーパーキッズ・オーケストラ公演 9月3日(土)~4日(日) KOBELCO 大ホール

③ 多彩な演奏活動

楽団の魅力を広く県内・全国へPR(県内外からの依頼公演等)

(ア) 県内外ホールと連携した演奏活動

- (a) 佐渡裕芸術監督指揮によるシーズンオープニング・フェスティバルと同演目によるコンサート
神戸市(松方ホール) 9月19日(月・祝)
明石市(明石市民会館) 9月22日(木)

(イ) 幅広いニーズに対応した演奏活動

- (a) 福山国際音楽祭(ふくやま芸術文化ホール) 5月21日(土)~22日(日)
(b) 須磨学園(神戸国際会館) 10月26日(水)
(c) 武庫川コンチェルト(武庫川女子大学甲子園会館) 11月13日(日)
(d) 1万人の第九(大阪城ホール) 12月4日(日)
(e) オーケストラ・キャラバン(調整中) 調整中
(f) 調整中(2公演) 調整中

(ウ) 県議会議場コンサート 2月(2月県会開会日)

④ コアメンバー演奏力の強化

(ア) PACシーズンオープニング・フェスティバル(ミュージックキャンプ)

若手育成という当楽団の性格から、そのミッションの一つであるアカデミー機能のより一層の強化、充実を目的に、シーズン・スケジュールの初め(9月)に国内外より著名な指導者陣(スペシャル・ゲスト・プレイヤー)を招き、オーケストラのレベルアップに不可欠なアンサンブル力の強化を図る(ミュージックキャンプ)。

また、芸術文化センターだけでなく、県内市町の文化施設においても開催(共同主催)することで、地域における音楽文化の発展に寄与する(フェスティバル)。

【時 期】 9月6日（火）～10日（土）5日間

＊その直後の佐渡監督指揮第135回定期演奏会(9/16～9/18)に成果を繋げる

【会 場】 やぶ市民交流広場

【内 容】 ①室内楽プログラム（スペシャル・ゲスト・プレイヤーのリーダーシップ）

②オーケストラプログラム（指揮：佐渡芸術監督）

③アウトリーチコンサート

④リハーサル公開、マスタークラス 等

【スケジュール】 9月6日（火）～7日（水）結団式、シーティングオーディション等実施（芸術文化センター）

9月8日（木）～10日（土）オーケストラ練習、室内楽公演、リハーサル、マスタークラス、公開リハ、アウトリーチ等実施（養父市）等 計1事業1公演

【出 演】 佐渡裕（指揮・芸術監督）

兵庫芸術文化センター管弦楽団（コアメンバー）

スペシャル・ゲスト・プレイヤー（予定）

- ・アントン・バラコフスキー（Vn ハンブルク放響コンマス）
- ・オウゲン・ギムゼ（Vc 元トロンハイム・ノイツ芸術監督）
- ・ダン・ステイブ（Cb オスロ・フィル副首席）
- ・クリストフ・ホルマン（Ob ベルリンフィル）
- ・ハンス・ロビン（Tp ハンブルク放響コンマス首席）
- ・ミヒャエル・ウラター（Timp ウィーン響首席）

（開催地）平成25年洲本市⇒平成26年豊岡市⇒平成27年洲本市⇒平成28年篠山市⇒平成29年赤穂市⇒平成30年篠山市
⇒令和元年明石市⇒令和2年洲本市（中止）⇒令和3年養父市（合宿・無観客配信実施）⇒令和4年養父市

（イ）世界トップ級の奏者を、ソリスト、客演コンマス、パートトップとして招聘（特別契約演奏者）し、当楽団との共演、指導（マスタークラス）により、コアメンバーが世界一流の演奏技術などを体感できる機会を設ける。

コロナ禍の影響により海外から特別契約奏者を招聘できなくなったので、オンラインマスタークラスを実施し、コアメンバーの技術力向上の場を確保。

⑤ 東日本大震災復興祈念等の継続的な取組

- ・スーパーキッズ・オーケストラの継続的な東日本大震災被災地訪問演奏活動
- ・東日本大震災復興祈念等事業資金

センター職員が、外部の委員会（芸術文化関連）の委員として従事したり、大学等で講義・講演を行う場合の報酬等や大口の寄附金収入等を「東日本大震災復興祈念等事業資金」として管理し、被災地への支援活動を行い有効活用。

① 財源：寄附金、表彰副賞、委員謝金 等

＊第2回貝原俊民美しい兵庫づくり賞副賞（地域政策研究会500千円）、神戸新聞平和賞副賞（神戸新聞300千円）、福島原発事故賠償金（東京電力7,386千円）、大口の寄附金（H25:2,000千円、H26:4,000千円、H28:3,182千円、H29:55,500千円）等
＊委員謝金：42件 1,352千円、講師謝金：69件 12,001千円（H23～R3）

② 充当事業

- （ア）スーパーキッズ・オーケストラによる被災地訪問演奏
- （イ）PACメンバーによる被災地アウトリーチ活動
- （ウ）プロデュースオペラ、楽団定期演奏会等への被災者招待 等

- ・スーパーキッズ・オーケストラ事業推進資産

サントリーホールディングス㈱がスーパーキッズ・オーケストラの設立趣旨や東日本大震災復興祈念活動に賛同して寄附（平成 26 年度）いただいた 150,000 千円を原資に東北への訪問、合宿等の事業活動（平成 27 年度から 10 年間）を展開（サントリー「東北サンさんプロジェクト」の一環）

<ホール別の主催事業数・公演数>

区 分	芸術文化センター事業		芸術文化センター管弦楽団事業		主催事業 計
	主催事業	舞台芸術団体 フェスティバル 等	演奏活動	青少年芸術体験事業	
KOBELCO 大ホール	41 事業 56 公演	3 事業 3 公演	11 事業 30 公演	1 事業 40 公演	56 事業 129 公演
阪急 中ホール	47 事業 100 公演	5 事業 11 公演	—	—	52 事業 111 公演
神戸女学院 小ホール	27 事業 27 公演	6 事業 6 公演	6 事業 6 公演	—	39 事業 39 公演
小計	115 事業 183 公演	14 事業 20 公演	17 事業 36 公演	1 事業 40 公演	147 事業 279 公演
外部公演	1 事業 7 公演	—	1 事業 1 公演	—	2 事業 8 公演
楽団外部依頼公演	—	—	10 事業 10 公演	—	10 事業 10 公演
計	116 事業 190 公演	14 事業 20 公演	28 事業 47 公演	1 事業 40 公演	159 事業 297 公演
【基準】	【36 事業 58 公演】		【48 公演】	【40 公演】	【146 公演】

〔注1〕 上記のほか普及事業開催：広報普及イベント（公開リハーサル、レクチャー・トーク、ワークショップ、バックステージツアー、企画展示、西北活性化協議会イベント等）、楽団アウトリーチ活動等

3 芸術文化センター広報・普及活動

① 広報活動

(ア) 多面的な広報宣伝活動

(a) 記者発表等の情報発信

発売記者発表：センター事業の発売・イベントについて、原則毎月記者発表（資料配布）のほか、主な事業について個別制作発表・出演者記者会見を企画
広域的なPR、ファンの発掘・裾野拡大、安定的・継続的な有料入場者の確保を目指して積極的に展開

(b) 紙面広報

佐渡芸術監督をはじめ芸文センターへの取材要請に、全国紙、ミニコミ紙等へのきめ細かな対応・活用を図るとともに、自主広告との相乗効果を図る。

(c) 交通機関広報—ポスター活用—

京阪神中心に、阪急・JRの鉄道車両・駅にポスターを掲出

(d) 放送局等との共催

TV報道番組等での放送に取り組むとともに、共催型公演事業等による在阪マスコミ媒体を活用し、PR活動を推進

(イ) 自主媒体による展開

(a) 情報誌「ひょうご舞台芸術」の発行

舞台芸術をはじめ多彩な芸術文化の情報を発信するため、情報誌を発行

- 【内容】 ・芸術文化センター事業特集
・イベント情報（音楽・演劇・舞踊等の各種イベントガイド）
・舞台芸術をはじめ多彩な芸術文化の情報

【発行】 年2回／各60,000部

(b) 会報誌の発行 毎月1回／45,000～60,000部

主催公演の発売案内を公演チラシと一緒に送付することにより、券売促進を図る。

(c) 公演スケジュールの発行 毎月1回／6,000部

主催・貸館公演を一覧にした月間スケジュールを発行し、記者や県内施設等に配布して、芸文センター事業を広く周知

(d) 芸文センターWebサイトの運営 (<http://www.gcenter-hyogo.jp>)

施設、公演事業、楽団をPRするとともに情報交流を推進

【内容】 施設概要・公演案内・入場券発売・楽団情報・ニュース&トピックス

(e) 特設Webサイトの運営

- ・佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ特設サイト（オペラ毎に開設）

「ラ・ボエーム」（R4.1.30開設）<http://gcenter-hyogo.jp/boheme/>

【内容】 作品・キャスト等の紹介、最新のニュース 等

- ・兵庫芸術文化センター管弦楽団特設サイト（H19.2開設）<https://hpac-orc.jp/>

【内容】 楽団・メンバーの募集・紹介、活動紹介、最新のニュース 等

(f) メールマガジンの発行

月1・2回程度：公演発売情報・お知らせ等の情報

(g) SNSの活用

- ・公式Twitterアカウント（H28.12利用開始）

芸文センターWebサイト掲載の発売情報やニュース&トピックスなどの情報を拡散する有効な手段として活用。

- ・プロデュースオペラ公式Twitterアカウント（H29.2利用開始）

オペラに特化した情報を配信

- ・プロデュースオペラ公式 Instagram アカウント (R1. 12 利用開始)
オペラの練習風景などの動画を配信

(h) 動画の配信

- ・楽団公式 YouTube の活用 (H25. 11 利用開始)
定期演奏会のライブ映像やゲスト奏者の紹介映像を全世界に発信し、楽団及び楽団員の活動を紹介するとともに、国内外の優秀な若手演奏家の楽団入団を促進

【配信中のコンテンツ】

- ・すみれの花咲く頃プロジェクト vol.1~32、final 編
- ・オーケストラ公演の再開に向けて～ディスカッションとデモ演奏～
- ・Meet-HPAC リサイタルホールから Vol.1~Vol.24
- ・わくわく Online オーケストラ教室
「妖精パックのオーケストラってなあ～に？」 part 1～4

(ウ) 芸術文化センター先行予約会員制度 (無料会員)

【特典】 チケット先行発売 (価格割引なし) インターネット購入
会報誌 (先行予約会員 NEWS) ・公演チラシの送付

【会員数】 57,513 人 (令和4年2月11日現在)

(エ) チケット販売体制

(a) チケットオフィスの運営

発売日にスタッフ 40 名、電話 35 台という全国で例のない充実したチケット販売体制をとるとともに、窓口案内/チケットカウンターに5つの窓口を設け、チケット窓口引き取りの混雑緩和に対応

(b) チケット販売システムの運営

チケット購入のアクセス集中時でも安定稼働させるとともに、利用しやすいシステムを目指す。

② 主催事業と連動した普及事業等

主催事業の制作過程や事業内容を観客にわかりやすく理解を深め楽しめるものとするため、楽団の公開リハーサルや芸術監督プロデュースオペラのワークショップなどを実施

(ア) 公開リハーサル

(a) 佐渡芸術監督プロデュースオペラ

「ラ・ボエーム」公開リハーサル (KOBELCO 大ホール)

【日程】 令和4年7月12日 (火)、13日 (水)

(b) 楽団「定期演奏会」公開リハーサル (KOBELCO 大ホール)

定期会員を対象に「定期演奏会」の公開リハーサルを実施 [各1回、計9回]

(イ) ワークショップ

オペラ創造ワークショップ「ラ・ボエーム」の制作アトリエ (KOBELCO 大ホール)

【日程】 令和4年7月14日 (木)

【登壇者】 佐渡裕 (指揮・芸術監督) ほか

(ウ) バックステージツアー

一般の方を対象に、普段、目にするのでできない劇場の舞台裏や舞台機構、公演準備作業の様子などを案内する見学会を開催

内 容		開催日
兵庫県立芸術文化センターのなるほどバックステージツアー2022		
第1回	なるほど「KOBELCO 大ホール」編	4. 5. 20 (2回)
第2回	夏休みの「わくわく探検隊ツアー」	4. 8. 4 (2回)
第3回	なるほど「PAC オーケストラ」編	4. 10. 12 ～10. 13 (2回)
第4回	なるほど「阪急中ホール」編	4. 11. 29 (2回)
第5回	なるほど「建物と仕事人」編	4. 12. 7 (2回)
第6回	なるほど「神戸女学院小ホール」編	5. 1. 11 (1回)
合 計		6事業 11回

(エ) 企画展示（共通ロビー情報コーナー「ポッケ」）

(a) バレエ・コレクション企画展示（年2回）

故薄井憲二氏（舞踊家、日本バレエ協会元会長）の貴重なバレエ・コレクションを活用し、その全貌を紹介することでバレエの歴史を概観する。

(b) 主催事業関連企画展示

自主企画公演等と連動した展示を行い事業の効果的なPRを図る。

【時 期】令和4年7月（プロデュースオペラ「ラ・ボエーム」） ほか

(オ) 薄井憲二バレエ・コレクション

故薄井憲二氏が世界各地から収集した世界有数の規模を誇るバレエ関連資料（書簡、プログラム、絵画・ポスター、書籍等約6,500点）、同バレエ・コレクションの概要、展示情報などをインターネットで配信するとともに、美術館等での展示やバレエ公演のパンフレットのために貸し出す。

③ 県民プレミアム芸術デーの開催

県民の芸術文化に触れる機会を充実するため、県立芸術文化施設の無料開放や、特別イベントを実施する県民プレミアム芸術デーを開催

実施日：令和4年11月9日

内 容：・施設の無料開放

・特別イベントの実施：バックステージツアー、ワークショップ等

4 施設の管理運営事業（発表・交流の場の提供）

施設運営の基本コンセプト

- ① 発信する劇場としてセンター・楽団自主企画事業を中心に運営
- ② 専門性の高い劇場（機能・設備・スタッフ）の特性が生かされる舞台芸術公演の利用促進
- ③ 県民の多様な創造活動の発表の場、劇場空間への親しみ・交流機会を通じて芸術文化の裾野拡大
- ④ フレキシブルで使い勝手の良い運営、開放性と賑わいで街づくりの一翼を形成

① 施設の管理運営

* 施設利用（貸館）受付の状況

(i) 本格的舞台芸術公演の優先利用受付（18 か月前受付）

毎月1日から18 か月後の月分を受付

(ii) 一般（貸館）利用受付

a ホール（12 か月前受付）

毎月1日に翌年度の当該月分を受付。受付開始後は4 か月前の末日までに随時受付

【ホール利用計画】 令和4年4月～令和5年3月（令和4年3月現在）

ホール	開館日数		利用日数		利用日数内訳	
	基準	計画	基準	計画	主催事業	貸館事業
					計画	計画
KOBELCO 大ホール	290	308	203 (70%)	271 (133.5%) [88.0%]	204 [75.3%]	67 [24.7%]
阪急 中ホール		303		270 (133.0%) [89.1%]	212 [78.5%]	58 [21.5%]
神戸女学院 小ホール		307		287 (141.4%) [93.5%]	79 [27.5%]	208 [72.5%]

※ 基準：県収支枠組における施設維持管理費、スタッフ配置、施設使用料収入の算定基礎としたもの

※ 利用日数の()内：利用日数（基準）と比較した利用率、[]内：開館日数（計画）と比較した利用率

※ 利用日数内訳の[]内：利用日数（計画）と比較した利用率

b スタジオ、リハーサル室（3 か月前受付）

毎月1日に3 か月後の月分を受付。受付開始後は、前日まで随時受付。

* 舞台芸術専門スタッフによる公演サポート（創造支援）

舞台技術（舞台、音響、照明）専門スタッフをはじめ各部門の専門スタッフにより、施設利用者の創作・発表を企画段階から様々な角度より支援する。

(ア) 人材育成

(a) 舞台技術関係者等の育成

舞台技術の現場に携わるスタッフや舞台技術専攻学生等を対象に、センターの舞台設備を活用して、劇場のあり方・技術向上の観点から舞台技術を継承・発展、創造活動支援を促進（舞台技術セミナー 9月）

- (b) アートマネジメント関係の人材育成
 - 将来を担う人材育成のための実践的なセミナーなどを業界関係者や大学等と連携して実施
 - a アートマネジメント講座の開催（2～3月）
 - アートマネジメントに必要な専門的知識・技術の習得を目的として開催
 - b 大学でのアートマネジメント講座
 - 大学「アートマネジメント講座」への講師派遣（通年）
 - 神戸女学院大学、大阪音楽大学等
 - c トライやる・ウィーク 中学2年生受入（5月～6月）
 - d 社会人研修受入

(イ) 地域連携・にぎわいづくり事業

- (a) プロデュースオペラ 「ラ・ボエーム」前夜祭（再掲）
 - 「ラ・ボエーム」のロングラン公演の成功を祝し開催
 - 【時 期】令和4年7月14日（木）
 - 【内 容】①「ラ・ボエーム」関連ミニステージ
 - ②前夜祭（高松公園）
 - 【主 催】西北活性化協議会
- (b) <LALALA にしきたミュージシャン・コンテスト2022（第15回）>
 - “にしきたを音楽の街に”をテーマに、街のアーティストの活動支援を行う。
 - 【時 期】令和4年11月18日（金）（阪急中ホール）（決戦）
 - （予選：令和4年9～10月実施）
 - 【内 容】ジャズ・クラシック・軽音楽・コーラス等
 - 【主 催】西北活性化協議会
- (c) クリスマス・イベント
 - 【時 期】令和4年12月（高松公園・芸術文化センター 1階メインエントランス）
 - 【主 催】西北活性化協議会

*** 地元企業との連携**

県内外からのお客様へのホスピタリティの向上の一環として、常日頃から関係の深い地元企業職員をホールに招き相互研修会を開催（阪急タクシー、阪急西宮北口駅）

② 公立ホール等との連携

(ア) 公立文化施設協議会等

兵庫県公立文化施設協議会（加盟36ホール）会長（事務局）、全国公立文化施設協会近畿地区支部長、多面・大規模舞台劇場協議会、劇場、音楽堂等連絡協議会メンバーとして県内外ホール間の連携を深める。

(イ) 公共劇場舞台技術者連絡会

公共劇場舞台技術者連絡会（公立の劇場やホールで舞台芸術を支える劇場技術者が連携して平成21年設立：加盟21ホール）の副会長として、舞台技術員が参画し、各劇場間の諸問題の調査研究、情報交換等を通して、公演の円滑な進行管理と安全確保、技術的専門性の確立を目指す。

(ウ) 主な全国の公立ホール整備への支援

センター職員の委員就任や視察受入、講演等を通じてアドバイス。

- [参考] ・仙台市（宮城県）：「兵庫・芸術文化センター」をモデルに復興のシンボルとして「新音楽ホール」整備。平成27年度予算に「調査費」2,000万円を計上。経済界では「音楽ホール建設基金」が始動。音楽関係者が「楽都・仙台に復興祈念『2,000席規模の音楽ホール』を！市民会議」を設立
- ・堺市（大阪府）：旧市民会館にかわる「フェニーチェ堺」（堺市民芸術文化

- ホール)を新設。平成28年度建設工事着手。令和2年10月オープン
- ・枚方市(大阪府):老朽化した市民会館にかわる「総合文化施設」(枚方市総合文化芸術センター)を整備。平成27年2月に公募型プロポーザル方式により設計事業者選定。平成27年度設計業務着手。平成29年度着工、令和3年度供用開始予定
 - ・高槻市(大阪府):老朽化した市民会館の建替。平成27年度基本計画策定。平成28年度設計業務。令和元年度建設工事着手、令和4年度開館予定
 - ・姫路市:姫路市文化事業の推進のため、姫路駅東側のキャスティ21イベントゾーン内に「知と文化・産業の交流拠点」をコンセプトに文化コンベンション施設を整備。「姫路市文化コンベンションセンター」として令和3年度開館予定。
 - ・札幌市:札幌市の文化事業振興のため、平成30年に完成した札幌文化芸術劇場に導入する舞台機構のシステム構築に係る助言を求められ、舞台機構アドバイザーとして当センターの舞台技術の専門職員を意見交換会に派遣(平成29年度)
- *その他、全国から視察を受入

③ 各ホールネーミングライツ・スポンサー

【愛称の使用期間】

令和2年4月1日から令和5年3月31日まで(3年間) *5期目

【ネーミングライツスポンサー及び愛称】

正式名称	ネーミングライツスポンサー	愛称	金額
大ホール	株式会社神戸製鋼所	KOBELCO 大ホール	3,000万円(税抜)
中ホール	阪急電鉄株式会社	阪急 中ホール	1,500万円(税抜)
小ホール	学校法人神戸女学院	神戸女学院小ホール	500万円(税抜)

(主な表示物)看板、ポスター、チラシ、会報誌、情報誌、広告、ホームページ、チケット

④ 賛助会員制度及び各種助成制度の活用等

(ア) 賛助会員制度

自主企画事業の充実、センター及び楽団の活動を広く県民に理解してもらうための広報宣伝などセンターの多彩な活動を支援いただくため、文化に関心を寄せる県内主要企業、地元企業等を対象に賛助会員を募る。(令和4年2月現在 17社)

(a) 特別賛助会員

ゴールド会員 年額300万円(1社)・シルバー会員年額100万円(3社)

【主な特典】

- ・2階エントランスロビーでの社名掲示
- ・月刊会報誌(月1回:5万部)への社名表記
- ・定期演奏会プログラムへの会社PR広告表記
- ・情報誌(年2回:6万部)への会社PR広告表記
- ・センターのホームページに社名を掲示、さらに会員のホームページにリンク

(b) 賛助会員

年額5万円(1口)(13社28口)

【主な特典】

- ・情報誌(年2回:6万部)への社名表記
- ※この他、いずれの会員も公演にご招待

(イ) 各種助成制度

県補助金をベースに経営効率を高めるとともに、ファンの期待に応えるメニュー充実、舞台グレードアップ、公演数拡大、広報強化等の資金として、文化庁や民間財団等の公的助成の積極的な獲得に努める。

* (独法) 日本芸術文化振興会 劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業 同ネットワーク強化事

業、経済産業省 コンテンツグローバル需要創出等促進事業費補助金（J-LOD）」事業 ほか

(ウ) 民間支援の受入れ（主なもの）

- (a) NPO法人イエロー・エンジェル（理事長：宗次徳二氏・名古屋市）による
コントラバスの無償貸与
コントラバス名：ヤナリス・ガリアーノ（1776年・イタリア製）ほか
- (b) 株式会社松尾楽器商会からピアノ「スタインウェイ」1台を無償貸与

(エ) 多額寄附金の活用

Aloha Mimura 基金（兵庫県立芸術文化センター音楽振興資産）

三村正之氏が兵庫県立芸術文化センター管弦楽団をはじめとした、新進音楽家の活動支援及び次世代を担う子どもたちの音楽体験活動への支援を目的に寄附（平成29年度）いただいた50,000千円を原資に平成29年度から5年を目途に音楽事業活動に充当

⑤ 中長期的取り組み

(ア) 芸術文化センター運営委員会

センターの運営について、運営委員会を開催し、事業の中長期的企画、事業展開、施設運営全般に関して経営面など幅広い観点から検討・意見交換を行う。

【時期】令和5年1月予定

【委員】学識者、舞台芸術の専門家、マスコミ・経済界のリーダー、センター関係者等

(イ) 次年度以降の事業計画づくり

多彩な舞台芸術を創造・発信していく芸術文化センター及び同管弦楽団の次年度以降の事業展開に向けて、芸術監督とともに長期的な計画づくりを進め、企画検討、事前調査、出演者等の交渉・調整、プランの作成、舞台の制作準備など、事業準備を行う。

〔尼崎青少年創造劇場関係〕

尼崎青少年創造劇場は、①地域における文化創造の芽を育む舞台芸術創造活動の場の提供、②「子どもと楽しむ落語会」等伝統芸術系の青少年・子ども向け事業の展開、③「県立ピッコロ劇団」による良質な演劇を通じた感動の提供、④ピッコロ劇団員による学校現場等における表現活動の普及、⑤「ピッコロ演劇学校・舞台技術学校」の運営による人材育成、⑥演劇等舞台芸術関係資料の閲覧・提供等を通じた県民の自主的な文化活動の促進に、重点的に取り組むとともに、県民にとって安全・安心、快適な施設を目指して、親切かつ効率的な運営を心がける。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて、感染拡大予防ガイドラインに基づき、ハード・ソフト両面での予防措置を講じるなど、適時的確な取組を行う。

兵庫県立尼崎青少年創造劇場の運営

1 ピッコロシアター鑑賞劇場

県民文化の高揚と地域文化の振興を図るため、演劇、伝統芸能、音楽などの優れた舞台芸術を紹介する鑑賞劇場を開催する。また、毎年恒例の子どもと大人が一緒に楽しめる落語会など、明日のひょうごを担う子どもたちに伝統ある舞台芸術にふれる機会を提供する。

令和4年4月～5年3月ラインナップ〔8事業（演劇2、音楽1、落語5）〕

事業名	公演年月日	出演者等
シアタースタート 民族芸能アンサンブル若駒 「はるなつあきふゆ あそぼあそぼ」 (中ホール)	4.5.7(土) (2公演)	構成・演出＝つげくわえ 出演＝民族芸能アンサンブル若駒
ピッコロ寄席「桂ざこば一門会」 (大ホール)	4.5.14(土)	出演＝桂ざこば ほか
ピッコロ寄席「桂枝雀一門会」 (大ホール)	4.8.13(土)	出演＝桂南光、文之助 ほか
生演奏で紙芝居 「グッドガール・シンシア」(注) (小ホール)	4.9.3(土)	紙芝居 作・画＝風太郎※ 朗読＝吉江麻樹※ 音楽・演奏＝川端裕美(フルート) 大竹秀晃(パーカッション) ※ ピッコロ劇団員
文学座公演 「欲望という名の電車」 (大ホール)	4.11.12(土) 13(日)	作＝テネシー・ウィリアムズ 演出＝高橋正徳 出演＝山本郁子、横田栄司 ほか
ピッコロ寄席「桂吉朝一門会」 (大ホール)	4.12.17(土)	出演＝桂あさ吉、桂吉弥 ほか
ピッコロ寄席「桂米團治独演会」 (大ホール)	5.2.5(日)	出演＝桂米團治 ほか
ピッコロ寄席 「子どもと楽しむ落語会」 (大ホール)	5.3.11(土)	出演＝桂吉弥 ほか
合計 8事業		

(注) ピッコロ劇団第66回公演「夢をみせてよ」(R2.2.28～3.1)の関連企画として、介助犬の輪を広げること为目的にピッコロシアターが製作した紙芝居「グッドガール・シンシア」に、フルートとパーカッションの生演奏をコラボレーション。シンシアは車椅子生活を送る木村佳友さん(兵庫県宝塚市)の不自由な生活を支えた介助犬。好評につき、昨年度に引き続いての上演。

2 2022 ピッコロフェスティバル

開館記念日（8月19日）を中心に約1カ月にわたり、地域で創造活動に取り組む若者たちの演劇、音楽、バレエなどの成果発表と交流の場として、施設を無償提供するとともに、その鑑賞等を通じた舞台芸術に親しむ機会とするため、県民の参加と協働による「ピッコロフェスティバル」（昭和53年から令和2年度を除き（※）毎年開催）を開催する。

※ 令和2年度は大規模改修工事により7・8月閉館のため中止

【時期】 令和4年8月2日（火）～8月28日（日）（予定）

【場所】 ピッコロシアター・各ホール、閲覧室など

【事業内容（予定）】

区分	内容
県民参加企画	演劇及びバレエ・モダンダンスについて参加団体を公募して開催 *演劇:小・中・高校の部、大学・一般の部、バレエ・モダンダンスの部 (舞台施設・設備を無償提供)
地域団体連携企画	〈阪神間など地域の文化団体組織と連携〉 「人形劇フェスタ阪神」「バリアフリーコンサート」 〈高校演劇研究会阪神支部と連携〉 高校生向け演劇ワークショップを開催 (企画運営は団体、舞台施設・設備を無償提供)
体験企画	〈伝統芸能〉 大蔵流狂言方を講師に招いての「ちゃっと！狂言～入門編～」を開催 〈コミュニケーション力・表現力〉 新聞記事を題材にした「まわしよみ新聞&演劇ワークショップ」 〈演劇〉 中高年を対象にした「40歳からのワンコイン演劇講座」 〈音楽〉 オペラの解説・リハーサル見学等の体験機会を提供する「オペラ教室」を開催(関西二期会オペラ研修所研修生によるオペラ公演を同時開催)
特別企画	〈ピッコロフェスティバルの期間中の開催〉 ピッコロ劇団ファミリー劇場公演「飛んで 孫悟空」、ピッコロ寄席など
協賛企画	関係団体による演劇・ワークショップの開催

3 県立ピッコロ劇団事業

① ピッコロ劇団公演

優れた舞台芸術の創造と地域文化の振興を図るため、県立ピッコロ劇団を運営し、ピッコロシアターでの多彩な舞台公演（本公演、ファミリー劇場など、劇場へのアクセシビリティを高める鑑賞サポートを継続）や学校等での演劇指導等人材育成事業を展開する。また、第2の活動拠点である県立芸術文化センター（西宮市）では12月にファミリー劇場公演を、2月には関西の演劇人との協働製作によるプロデュース公演を上演する。

劇団代表：岩松 了 劇作家・演出家・俳優

（第33回岸田国土戯曲賞、第28回紀伊國屋演劇賞個人賞、
第49回読売文学賞、第21回鶴屋南北戯曲賞、平成30年度兵庫県
文化賞を受賞）

客 員：鵜山 仁（演出家＝前新国立劇場演劇芸術監督・文学座）

喜志 哲雄（演劇評論家・京都大学名誉教授）

杉本 了三（演劇プロデューサー）

内藤 裕敬（劇作家・演出家・俳優＝南河内万歳一座）

劇 団 員：35名（男17名 女18名）（令和4年2月末現在）

ピッコロ劇団公演ラインナップ

※はピッコロ劇団員

事業名	公演年月日	出演者等
オフシアターVol.38 「月光のつゝしみ」 (中ホール)	4. 4. 8(金) ～10(日) (5公演)	作=岩松 了 演出=眞山直則(※) 出演=ピッコロ劇団員
第73回公演 「三人姉妹」 (中ホール)	4. 7. 16(土) ～7. 27(水) (12公演)	作=A. チューホフ 翻訳・演出=島守辰明(※) 出演=ピッコロ劇団員
わくわくステージ(5～6月期) 「飛んで 孫悟空」(ファミリー劇場と同演目) (大ホール)	4. 5～6月 (12公演) *未確定	作=別役 実 演出=平井久美子(※) 出演=ピッコロ劇団員
わくわくステージ 市町ホール公演 「飛んで 孫悟空」(ファミリー劇場と同演目) (開催ホール調整中)	(調整中)	
ファミリー劇場 「飛んで 孫悟空」 (大ホール)	4. 8. 6(土) ～7(日) (4公演)	
わくわくステージ(12月期) 「飛んで 孫悟空」(ファミリー劇場と同演目) (大ホール)	4. 12月 (9公演) *未確定	
ファミリー劇場 「飛んで 孫悟空」 (県立芸術文化センター 阪急 中ホール)	4. 12. 24(土) ～25(日) (3公演)	12月公演 オーディションによる子ども達 が出演予定
第74回公演 「から騒ぎ」 (大ホール)	4. 10. 6(木) ～10(月・祝) (6公演)	作=シェイクスピア 翻訳=喜志哲雄 演出=鶴山 仁(文学座) 出演=ピッコロ劇団員
おでかけステージ(小学校公演) 「タラレバ幽霊とタカラの山」 (小学校体育館等)	4. 10～11月 県内の小学校 等での上演	台本=谷口雅美/原 竹志(※) 演出=原 竹志(※) 出演=ピッコロ劇団員
第75回公演 ピッコロシアタープロデュース 「三文オペラ」 (県立芸術文化センター 阪急 中ホール)	5. 2. 17(金) ～19(日) (5公演)	作=ブレヒト (谷川道子訳 光文社) 台本・演出=松本 修 (MODE・近畿大教授) 出演=ピッコロ劇団員ほか
合 計 9事業		
【本公演3本、ファミリー劇場2本、オフシアター、わくわくステージ、同市町公演、おでかけステージ】		

(注)「わくわくステージ」: ピッコロ劇団による中学生向け演劇鑑賞体験事業

(参考) 鑑賞サポートの取組

ファミリー劇場・わくわくステージなどにおいて、ピッコロ劇団員の参画のもとに、多様なアクセシビリティに配慮した鑑賞サポートの取組を継続して進めていく。

《取組例》

- ・視覚障害のある方向けに音声ガイド付き公演
(R4: わくわくステージ(5～6月期)、ファミリー劇場(8月)で実施予定)
- ・聴覚障害のある方向けに公演の音声情報を字幕表示(タブレット配布又は舞台上で表示)
(R4: わくわくステージ(12月期)、ファミリー劇場(12月)で実施予定)
- ・バックステージ解説での手話通訳
- ・視覚障害のある方に事前に舞台の立体図(触図)に触れてもらう
- ・公演台本・ヒアリングループ・骨伝導補聴器の貸出
- ・受付での手話通訳、筆談対応 等

② 演劇指導（演劇ワークショップ）など

ピッコロ演劇学校（本科・研究科）、県立宝塚北高校（演劇科）、県立教育研修所、兵庫県自治研修所等へ劇団員を指導者として派遣するとともに、演劇の裾野の拡大をめざし、演劇・創作活動を身近に感じてもらうため、県内各地でワークショップ等を開催する。小学校などでは演劇ワークショップ「あつまれ！ピッコロひろば」を実施する。併せて、特別支援学校生徒や日本語に不慣れな外国人などへの社会包摂活動につながる演劇ワークショップなどの取組も継続して進めていく。

③ 外部出演

他劇団、放送局等の依頼を受けて、演劇公演、映画、放送等に出演。

④ ピッコロサポートクラブへの支援

ピッコロ劇団の活動を地域全体で支援するため、平成8年に尼崎商工会議所等が中心となって設立された後援会組織である「ピッコロサポートクラブ」の活動を支援するとともに、情報誌「i n t o」を共同発行する。

（参考1）ピッコロサポートクラブ会員 331口（令和4年1月末現在）

種類	年会費
法人会員（企業・団体向）	20,000円
個人会員（特別会員）	10,000円
個人会員（A会員）	6,000円
個人会員（B会員）	2,000円
個人会員（J会員高校生以下）	4,000円

〔特典〕

- ・ピッコロ劇団公演への招待または入場料割引、先行予約
- ・情報誌「i n t o」、稽古場見学会※や劇団員との茶話会等の催し物案内の送付
※令和3年度は、コロナ禍のため「稽古場ライブ配信」を開催
- ・演劇、落語会等ピッコロシアター自主事業の入場料割引、先行予約等

（参考2）情報誌「i n t o」の発行

ピッコロ劇団公演の紹介をはじめ、劇団員の活動、ピッコロシアターでの催し物等の情報を提供する。

* A5版/20ページ（カラー印刷）/年4回/各3,000～4,000部

4 人材育成・体験活動事業

① ピッコロ演劇学校の運営

地域文化を高める演劇創造に参加しようとする若者たちに、夢を与え、表現力や創造力、コミュニケーション力を身につけさせることで、人間性豊かな人材を育成する。

【期間】 令和4年4月～5年3月

【場所】 ピッコロシアター

【授業】 原則として毎週2回（火・木の夜間）と年数回の特別講義

特別講師：岩松 了、平田 オリザ、鐘下 辰男、伊藤 惣一など

【募集人数】 本科40名、研究科20名

【上演実習】（本科）前期発表会、卒業公演[舞台技術学校と合同製作]

（研究科）前期発表会、卒業公演

② ピッコロ舞台技術学校の運営

クリエイティブな地域文化のステージづくりと文化施設の活性化のため、舞台芸術を支える美術、照明、音響の舞台技術人材を育成する。

【期間】 令和4年4月～5年3月

【場所】 ピッコロシアター、芸術文化センター（学外授業）

【授業】 原則として毎週2回（水・金の夜間）と年数回の特別講義

特別講師：服部 基、山北 史郎、堀尾 幸男

【募集人数】 美術、照明、音響 計30名

【上演実習】 クラシックコンサート実習、軽音楽ライブ実習、

卒業公演[演劇学校本科と合同製作]

③ ピッコロ・山根演劇賞の贈呈

ピッコロ演劇学校生及びピッコロ舞台技術学校生のうち成績優秀で他の模範となった者や、ピッコロ劇団員のうち優れた演劇活動を行った者など、優れた演劇活動を行った者に「ピッコロ・山根演劇賞」を贈呈する。(時期：令和5年3月)

④ ピッコロシアター文化セミナー&文化セミナーラボ

〔文化セミナー〕

著名な舞台人による講演、専門家による伝統芸術の紹介・解説などの教養講座を開催し、舞台芸術への関心を高め、地域文化の振興を図る。(ピッコロシアター大ホール)

事業名	期日	出演者等
<101> 渋谷天外さんに聞く (調整中)	4. 6. 9(木)	出演=渋谷天外 (俳優、松竹新喜劇代表) 聞き手=亀山典子 (産経新聞社文化部編集委員)

〔文化セミナーラボ〕 ※令和4年度新規事業

従来文化セミナーに加え、これまでピッコロシアターに馴染みのなかった層にも理解者・ファンを広げるため、舞台芸術の周辺での興味深いテーマを扱う、小規模の実験的なセミナーを開催する。

【実施回数等】年3～4回程度(小ホール・閲覧スペースほかで実施)

【講師】翻訳家、舞台写真家、映像作家、まちづくりプロデューサー、新聞記者等

⑤ ピッコロ実技教室

伝統芸能や演劇等の体験的学習、解説をまじえた実技教室を開催し、舞台芸術への関心を高め将来の鑑賞者の育成を図る。

いずれも、2022ピッコロフェスティバルの期間中に「体験企画」として実施。

事業名	期日	出演者(指導者)等
まわしよみ新聞&演劇ワークショップ 〈壁新聞を演じてみよう〉	4. 8. 2(火)	講師:陸奥賢(まわしよみ新聞考案者)、ピッコロ劇団員
40歳からのワンコイン演劇講座	4. 8. 7(日)	講師:瀬口昌生(大手前大准教授)
ちょっと! 狂言~入門編~	4. 8. 20(土) 21(日)	講師:大蔵流狂言方 善竹隆司・善竹隆平
令和の演劇向上委員会	4. 8. 23(火)	講師:兵庫県高等学校演劇研究会 阪神支部加盟の教諭(演劇部顧問)ほか
オペラの普及をめざして 関西二期会オペラ研修所と連携 「ピッコロオペラ教室」 「第58期生による修了オペラ」 (演目は調整中)	オペラの楽しみ方 4. 8. 26(金) オペラ公演 4. 8. 27(土)	講師:関西二期会理事 関西二期会オペラ研修所 第58期生 ほか

⑥ 研修生等の受け入れ

開かれた劇場として、トライやる・ウィーク、インターンシップをはじめとした研修生(中・高・大学生等)を年間を通して内外から受け入れる。

また、令和4年度からは、新たに芸術文化観光専門職大学(豊岡)の実習先として、2年生数名を10日間程度受け入れる。(今後、順次3・4年生を受入予定)

⑦ ピッコロ動画配信~コロナ禍から始まった取組~

ピッコロシアターとピッコロ劇団の事業・公演について、より幅広い客層に関心を持ってもらい、コロナ収束後は、実際に足を運んでもらえるよう、昨年度に引き続き、SNSやホームページ等を通じてPR動画、劇団員による紙芝居の読み聞かせ、朗読ムービー、歌唱リレー、劇場探検ツアーなどのコンテンツ配信などの充実に取り組む。

⑧ 県民プレミアム芸術デーにおける交流イベントの開催 ※令和4年度新規事業

7月12日(兵庫県発足の日)を中心とした1週間、県立芸術文化施設において芸術関連のイベントが開催されることに合わせて、ピッコロシアターにおいても県民参加のバックステージツアーやピッコロ劇団によるおはなし会などを開催する。

5 施設の管理運営事業

① 兵庫県立尼崎青少年創造劇場の施設管理

青少年の演劇、音楽、舞踊等の創造活動を促進するとともに、広く県民文化の高揚を図るため設置された「県立尼崎青少年創造劇場(ピッコロシアター)」の指定管理者として、演劇、音楽、舞踊等の舞台芸術の練習・発表の場である劇場内諸施設を提供するほか、鑑賞劇場、文化セミナー等自主事業を適切に実施する。

【所在地】 尼崎市南塚口町3丁目17番8号

【施設】 ・大ホール(客席数396席) ・中ホール(収容200人)
・小ホール(収容100人) ・楽屋(6室) ・練習室(3室)
・資料室(閲覧スペース・書庫) ・舞台美術工房 等

(参考) 近年実施した主な施設改修

《R3年度》

- ・ 動画配信のためのWi-Fi整備(各ホール・楽屋・練習室・閲覧室及び別館稽古場)
- ・ ホールのロスナイ(換気システム)の改修

《H29～R2年度》

- ・ 別館稽古場への換気設備改修(R2)
- ・ 大ホールホワイエに障害者等対応エレベータを設置(R2)
- ・ 展示室を劇場利用者同士の交流が図れる閲覧スペース等に改装、書庫を整備(R1-2)
- ・ ホール天井照明のLED化、練習室の防音換気機能向上(R1-2)
- ・ 小道具等が製作できる舞台美術工房を大ホールB1階に整備(R1)
- ・ トイレの完全洋式化、おむつ交換台、授乳室の設置(H29-R1)

② 情報の提供

ア 演劇等舞台芸術関係資料の提供(蔵書数約32,000冊※)

青少年などの幅広い創造活動を支援するため、資料室において、演劇・音楽・舞踊などの舞台芸術専門書等の閲覧・貸出を行い、照会にも迅速に対応する。

※ 令和2年度にピッコロ劇団初代代表、故・秋浜悟史氏のご遺族からの寄贈蔵書約5,500冊を「秋浜文庫」として受け入れ、書籍の充実を図った。

イ ピッコロ・ホームページの運営

より見やすく分かりやすいレイアウトとなるよう工夫するとともに、スマートフォンからのアクセスの改良などを継続し、今後とも情報発信力の充実を図る。

※ URL <https://piccolo-theater.jp>

- ・ 主催事業(公演や募集情報等)がよりタイムリーに伝わるようビジュアルを工夫
 - ・ 『今日の劇場』を、貸館情報も含め日々の劇場の動きが分かるレイアウトに更新
 - ・ スマートフォン、タブレット端末等にも対応するレイアウトにしてPR効果を向上
 - ・ フェイスブック、インスタグラム、ツイッターを活用したSNSにより発信
- (内容) * 公演&参加する 公演・募集情報、月間スケジュール 等
* 劇場を知る&使う フロアガイド、利用案内、空き状況 等
* ピッコロ劇団 劇団員プロフィール、上演記録 等
* ピッコロ演劇学校&ピッコロ舞台技術学校 学校案内、学校Q&A 等

ウ 芸術文化情報コーナーの運営

劇場内2カ所に県内外の芸術文化公演や劇場・劇団の等のチラシ、パンフレットを見やすく配置し、来場者へ多くの芸術文化情報を提供する。

〔本部関係〕

新型コロナウイルスの発生から2年が経過するなか、芸術文化協会本部では、感染防止策など万全の対策をとりつつできる限りの事業実施を目指してきたところであり、令和4年度については芸術文化予算の減額等厳しい環境のなかであるが、次のような視点を基本に取り組んでいく。

- ① 新型コロナウイルス感染症対策
政府や県の新型コロナウイルス感染症対処方針や各種ガイドライン等を踏まえて、飛沫拡散防止や検温など適切な対策を講じたうえで実施する。
- ② 自主事業の充実
寄付金等を活用して伝統文化の振興や顕彰事業を継続的に実施していく。
- ③ 演奏・活動機会の提供
県内芸術家ロビーコンサートやリサイタルの開催支援のほか、インターネット配信を含めた様々な機会での演奏・活動の場を提供していく。
- ④ 地域文化向上への支援
県民芸術劇場の幅広い芸術分野での実施やふれあい文化の祭典の県内各地域での開催、地域文化団体協議会との更なる連携など、県民文化・地域文化向上を支援する。
- ⑤ 講座事業等の充実
アンケートを踏まえた魅力のある講座内容の検討やより参加しやすい短期講座開催の検討など、受講者からの評価も高い講座事業を充実する。
- ⑥ 事務改善の推進
不断の事務改善に加え、令和5年10月からの電子帳票や、インボイス制度導入に向けた協会全体への対応を的確に進めていく。

芸術文化普及啓発事業

1 主催事業

(1) 芸術文化活動の表彰事業

① 第41回ふるさと文化賞の贈呈

地域において永年にわたり、伝統文化の継承、ふるさと文化の高揚に多大な貢献をされた個人、団体を顕彰するため、「ふるさと文化賞」を贈る。なお、伝統文化ふれあい広場で発表の場を提供する。

【件数】 3件以内

② 亀高文子記念－赤艸社賞の贈呈（拡充）

絵画の創作を通じて、県民文化の高揚に功績のあった女性洋画家を顕彰する「亀高文子記念－赤艸社賞」について、寄付金を活用した永続的な実施に向けた検討を進める。なお、特別展示室のロビー側壁面を利用し、受賞者記念展を開催する。

【件数】 2件以内

【副賞】 20万円

③ 坂井時忠音楽賞の贈呈（拡充）

県内における音楽活動に優れた業績をあげ、かつ、将来の活躍が期待される音楽家を顕彰する「坂井時忠音楽賞」について、寄付金を活用した永続的な実施に向けた検討を進める。なお、リサイタルシリーズへの出演機会を提供する。

【件数】 2件以内

【副賞】 30万円

④ ひょうごアーティストサロン賞の贈呈

ひょうごアーティストサロンの事業に積極的に参加し、将来一層の活躍が期待される新進・若手芸術家及びサロンの企画・運営に協力的な指導者を顕彰するため「ひょうごアーティストサロン賞」を贈る。

【件数】 3件以内（アーティスト部門2件、協力者部門1件）

(2) コンクール、展示事業

① 第34回全国手工芸コンクール in ひょうご

女性を対象とし、ふだんの生活から創りだされた、ぬくもりのある手工芸作品を全国から募集し、優秀作品を表彰する。

【会 期】 令和4年11月11日(金)～13日(日)

【会 場】 原田の森ギャラリー

② 第28回兵庫ふれあい美術展

日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・昨年度に統合した鈴懸の径絵画部門の作品を公募し、優秀作品を表彰する。

【会 期】 令和4年12月23日(金)～25日(日)

【会 場】 原田の森ギャラリー

③ 第60回 2022県展

絵画、彫刻・立体、工芸、書、写真、デザインを公募し、優秀作品を表彰する。

【会 期】 令和4年8月6日(土)～20日(土)

【会 場】 原田の森ギャラリー

【共 催】 兵庫県・兵庫県立美術館・神戸新聞社

④ 兵庫県民会館文化教室総合展

兵庫県民会館で実施されている、美術・書道等さまざまなジャンルの文化教室の作品を一堂に集めPRするとともに、受講生の交流、賑わいを醸成する。

【会 期】 令和5年3月17日(金)～19日(日)

【会 場】 兵庫県民アートギャラリー

⑤ 新進美術家作品展 (アーティストサロン事業)

県内各美術団体の協力を得て、芸術文化コーディネーターのもと、新進作家を中心とした作品展を開催する。

・ひょうごアーティストサロン内ギャラリー

作 品 展	開催時期 (2ヶ月程度)
兵庫二紀会選抜展	4月～5月
兵庫県写真作家協会新進作家選抜展	6月～7月
兵庫県美術家同盟新進作家展	8月～9月
兵庫の工芸壁面を飾る	10月～11月
兵庫県書作家協会選抜展	12月～1月
兵庫県日本画家連盟新進作家展	2月～3月

・県民アートギャラリー特別展示室

作 品 展	開催回数等
新進美術作家作品展 (書、洋画)	年2回 (各5日間)

・県民アートギャラリー大・中展示室

作 品 展	開催時期
兵庫県美術作家交流展	12月 (5日間)

会場構成を一新するほか、出品作家による作品解説も企画する。

(3) 主催公演事業

① 県民芸術劇場

小学校、高校、公立文化施設が公演団体作成のPR動画等により選択した舞台芸術を鑑賞、参加体験する機会を提供するとともに、県内芸術文化団体等の育成、

公立文化施設の活性化を促すことにより県民文化の高揚を図る。県の補助金の減少に伴い公演数は減少するものの、共同開催や公演機会の均等化等に配慮する。

【時 期】 通年

種別	開催場所	公演数（前年度）	公演内容
一般公演	市町文化会館等	5(13)	オーケストラ、室内楽、声楽、打楽器、演劇、ミュージカル、バレエ、人形浄瑠璃、狂言、落語等
学校公演	小学校 高等学校等	51(55)	
合計		56(68)	

② 県民会館ロビーコンサート（アーティストサロン事業）

兵庫県民会館のロビーを活用した新進・若手アーティストのコンサートを開催する。

また、兵庫県いけばな協会の協力により、会場にいけばなを飾り、伝統文化の紹介に資する。

【時 期】 原則毎月第2土曜日

【会 場】 兵庫県民会館1階ロビー

③ 県内芸術家ロビーコンサート（アーティストサロン事業）

県・市町の文化施設等における新進芸術家等によるロビーコンサートを実施することで、コロナ禍で少なくなった発表と鑑賞の機会を創出する。

【回 数】 20公演程度

【会 場】 県市町文化施設

④ 新進芸術家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ（アーティストサロン事業）

兵庫県出身、在住、在勤、在学で芸術文化活動をする概ね45歳未満の個人及び団体で、今後の活躍が期待される新進芸術家に発表の場を提供する。

また、兵庫県いけばな協会の協力により、会場にいけばなを飾り、伝統文化の紹介に資する。

【回 数】 毎月1回程度

【会 場】 兵庫県民会館けんみんホール

(4) 講座・体験等事業

① 兵庫県生活文化大学（充実）

日々の暮らしに喜び、感動を求め、歴史や文化に深い関心を寄せる県民の学習意欲に応えるため、多彩な講座で構成する兵庫県生活文化大学を開催する。

講座名		開催地	会 場	期間・回数(回)
神戸校	文化財 (県立美術館「芸術の館友の会」)	神戸市	兵庫県民会館	4～2月 10
	考古学 (県立考古博物館)			4～2月 10
	日本美術 # (県立美術館「芸術の館友の会」)			4～2月 10
	西洋美術 (県立美術館「芸術の館友の会」)			4～2月 10
	ふるさとの歴史 (県立歴史博物館 ひょうご歴史研究室)			4～2月 10
	音楽鑑賞 (兵庫県音楽活動推進会議)			5～3月 10
明石校	ふるさとの歴史 (明石市) (県立歴史博物館)	明石市	明石市生涯学習センター	4～2月 10

姫路校	ふるさとの歴史 (県立歴史博物館)	姫路市	日本城郭研究センター	4～2月 10
合計				8講座
				80回

注) #は令和3年度にコロナのため中止

② 地域と暮らしの兵庫学

田辺真人 園田学園女子大学名誉教授を講師に迎え、兵庫県の風土が生み出した独自の地域文化や生活文化の中から、古くから伝わる伝説や歳時記、伝承行事の様式の考察を交えて改めて歴史的に県域を考える。

【時 期】 令和4年9月頃～令和5年1月 (全3回)

【会 場】 兵庫県民会館けんみんホール

③ 伝統文化ふれあい広場

誰もが気軽に様々な伝統文化を一度に「する」「みる」ことができる機会を提供し、伝統文化の裾野の拡大を目指す。

また、体験ブース間の間隔を拡大することにより密を回避し、実施する。

【時 期】 令和5年3月4日(土)～5日(日) (予定)

【会 場】 兵庫県公館

④ 伝統文化担い手づくり事業 (新規：協会自主事業として実施)

県事業として廃止されたものの、諸団体と連携して伝統文化の普及を促進するため、協会自主事業として継続的に取り組む。

ア 伝統文化体験教室

伝統文化をより深く体験できるよう県公館和風会議室を利用した体験教室を開催する。

【時 期】 令和4年5月～令和5年2月

【会 場】 兵庫県公館 和風会議室等

【内 容】 能楽、日本舞踊、須磨琴、長唄、三味線、いけばな

イ 伝統文化学び塾

伝統文化体験教室等による体験機会により生まれた伝統文化にかかる求心や技能習得への意欲を伝統文化の普及促進や人材育成に繋げるため、習い事として複数回の受講が可能な講座を展開し、舞台等で発表する。

【時 期】 令和4年6月～8月

【会 場】 練習 兵庫県公館 和風会議室

発表 兵庫県立芸術文化センター

【内 容】 箏コース(兵庫県箏絃連盟と連携)

⑤ ひょうご未来の芸術文化人材創出事業 (新規)

県内の新進・若手アーティスト等が県内各地域の学校や公共施設等に出向き、青少年への実演やレッスンを行い、芸術文化に関わる人材を育成する。

【時 期】 令和4年5月～令和5年2月

⑥ 友の会事業の推進 (充実)

芸術文化を愛し、こころ豊かな生活文化を育む人々が、芸術文化に関する学習や交流事業を通じて、生きがいつくりと会員相互の交流を図るため、友の会事業を推進する。また、会員数の拡大や会員特典施設の増加・充実等に取り組む。

なお、移動中や食事中の感染リスクが高い「ふれあいの旅」「ふるさと文化紀行」等の旅の企画は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めたうえで、実施の適否の検討を行う。

【名 称】 兵庫県芸術文化協会友の会

【種 類】 個人会員

(会費： 3,000円)

ファミリー会員 (同一世帯・2人まで)

(会費： 5,000円)

団体会員

(会費：10,000円)

【特典】・文化情報紙「すずかけ」の送付（毎月）

・生活文化大学の受講料等割引

・美術館・博物館等の入館料割引

・提携劇場指定公演チケットの斡旋・割引など

2 芸術文化団体等との連携事業

(1) 兵庫県地域文化団体協議会への支援

県内7地域の文化団体協議会等と協会で組織する兵庫県地域文化団体協議会の事務局を運営し、情報や課題の共有、共同事業の実施など地域文化の活性化を図る。

① 地域文化団体との共同事業 *

県内7地域の文化団体協議会等と協力し、地域伝統文化事業をはじめ、各地の自主的な芸術文化事業を開催するとともに、文化情報紙「すずかけ」で地域の代表者や文化事業を紹介することにより、地域イベントへの参加者の増員を図る。

【対象】地域文化団体7団体

【内容】

阪神南文化振興団体連絡協議会…「アルカディア盲導犬とともに音楽を愛でる会コンサート」の開催

阪神北文化振興団体連絡協議会…「阪神北文化フェスタ」の開催

東播磨文化団体連合会……………東播磨文芸誌「東はりま文化子午線」第46号の発行

西播磨文化協会連絡協議会……………「西播磨地域ふれあい文化交流会」の開催

但馬文化協会……………但馬文学のつどい「たじま作品集～短詩型文学～」第47集の発行

丹波文化団体協議会……………「丹波における伝統文化体験フェスティバル」の開催

淡路文化団体連絡協議会……………「淡路文化の祭り」の開催

② 地域文化を考えるシンポジウム

県内市・町文化協会長等が一堂に会し、シンポジウムを通じて地域の文化活動を語りあい、芸術文化情報の交換と連携の輪を広げ、地域文化の活性化と県民文化の向上を図る。

【時期】令和4年11月25日（金）

【会場】洲本市文化体育館

【テーマ】「くとうみの島淡路の歴史と新しい地域文化の創造」（仮称）

(2) 県民文化普及事業 ふれあい文化の祭典 *

芸術文化団体が、市町及び兵庫県の協力を得て実施する「ひょうご演劇祭」等「令和4年度県民文化普及事業—ふれあい文化の祭典」（22事業）について、全ての事業実施を目指すとともに、広報宣伝・観客誘致、開催記録等を担当する。

（「ふれあいの祭典」全県事業が終了したことから「ふれあい文化の祭典」に名称変更）

No.	事業名	関係文化団体	会場（市町）
1	ひょうご演劇祭	兵庫県劇団協議会	西宮市
2	ひょうご邦楽の祭典	兵庫県箏絃連盟	西宮市
3	ひょうご吟剣詩舞道祭	兵庫県吟詠連盟、 兵庫県吟剣詩舞道総連盟	姫路市
4	和太鼓フェスティバル in 兵庫 #	兵庫県太鼓連盟	養父市
5	アンサンブル・フェスティバル兵庫	兵庫県音楽活動推進会議	西宮市
6	音楽とダンスの祭典 in Hyogo #	兵庫県ダンススポーツ連盟	神戸市

7	ひょうごブラスフェスティバル	兵庫県吹奏楽連盟	西宮市
8	詩のフェスタ ひょうご	兵庫県現代詩協会	神戸市
9	ひょうご名流舞踊の会	兵庫県舞踊文化協会	神戸市
10	ひょうご洋舞フェスティバル	兵庫県洋舞家協会	西宮市
11	ひょうご大茶会 #	兵庫県茶道協会	神戸市
12	ひょうご日本民謡フェスティバル	日本民謡民舞兵庫県連合会	神戸市
13	全国手工芸コンクール in ひょうご	兵庫県婦人工芸協会	神戸市
14	兵庫県いけばな展（神戸展）	兵庫県いけばな協会、 兵庫県いけばな芸術文化振興会議	神戸市
15	ひょうご俳句フェスティバル #	兵庫県俳句協会	神戸市
16	兵庫県いけばな展（地域展） #	兵庫県いけばな協会、 兵庫県いけばな芸術文化振興会議	加西市
17	兵庫県交響楽祭	兵庫県オーケストラ協議会	丹波篠山市
18	兵庫県川柳祭	兵庫県川柳協会	神戸市
19	ひょうご合唱の祭典	兵庫県合唱連盟、 兵庫県児童合唱連盟	加東市
20	兵庫短歌祭	兵庫県歌人クラブ	佐用町
21	兵庫ふれあい美術展	(公財)兵庫県芸術文化協会	神戸市
22	ひょうご民俗芸能祭	兵庫県伝承民俗芸能文化協会	播磨町

注) #は令和3年度にコロナのために中止になった事業

(3) 市町ホール活用支援事業

市町ホールの活性化、人材育成、県内公立文化施設間の連携強化を図るため、県内2市町の公立文化施設（市町ホール等）が、音楽や演劇等の大型自主公演を共同で企画する同一内容の自主公演事業を支援する。

【採択件数】 3件（6公演）

【対象経費】 公演出演料

【助成額】 1公演あたり200万円上限（負担割合 県:施設①:施設②=1:1:1）

(4) 舞台芸術鑑賞機会創出事業（新規）

県内の文化施設において、音楽・演劇等の有料公演を行う際に一定数を学生向けに無料で開放し、コロナ社会で減少した子どもの舞台鑑賞機会や県内アーティストの活動機会を創出する舞台公演を支援する。

【採択件数】 30公演程度

【対象経費】 公演料

【助成額】 1公演あたり500千円上限

(5) ひょうご文化交流のつどい *

県域文化団体協賛のもと、様々な分野の関係者が一堂に集い、交流・親睦を深める場を提供することにより、芸術文化活動の一層の発展を図る。なお、過去2回は新型コロナウイルス感染症のために中止し、「すずかけ」紙面上でメッセージを掲載しており、感染状況を見極めたうえで実施方法の検討を行う。

【時期】 令和4年12月

【場所】 神戸市内

(6) 芸術文化団体等の事業への支援

県内で開催される文化振興に寄与する事業を支援するとともに、優秀作品に兵庫県芸術文化協会賞を贈る。

【後援名義】 年間約250団体

(7) 兵庫県文化賞受賞者懇話会への支援

兵庫県文化賞受賞者で構成される、兵庫県文化賞受賞者懇話会の事務局運営等の支援を通じて、芸術文化の振興を図る。

*…その他（芸術文化団体との連携事業）に区分される事業

3 ひょうごアーティストサロンによる県内アーティストへの支援事業

ひょうごアーティストサロンに芸術文化コーディネーターを置いて、新進・若手芸術家等に対する相談・助言や、発表の機会と場の提供などをより積極的に行うことにより、新進・若手芸術家の育成支援と地域における芸術文化活動のさらなる活性化を図る。

また、新進・若手芸術家の育成支援を図るために、様々な機会を通じた募金活動に継続的に取り組む。

(1) 芸術文化関係者の交流・連携の促進

様々な分野の芸術文化関係者がアーティストサロンに集い、出会い、語らいの場として利用されることにより、交流拠点としてのサロン機能を発揮する。

(2) 相談・助言・斡旋事業の実施

芸術文化情報の収集・発信を通して蓄積した人材情報等に基づき、初心者から若手、中堅を問わず芸術文化活動に関する様々な相談に応じる。

また、県・市町および関係団体が主催するシンポジウム・セミナー・各種大会において、これらの事業に花を添えるような形で、県内のアーティストに参画していただく「ひょうごさわやかステージ」と冠したミニコンサートやミニ展覧会を斡旋することで、県民により多くの芸術文化に触れる機会を提供する。

(3) 若手アーティストの育成・支援

① 動画で楽しむひょうごの芸術文化事業（新規）

県内の新進・若手アーティスト等による芸術活動（音楽演奏、美術展示、創作活動等）の動画を作成し、web上で動画配信することで、県民の芸術文化鑑賞機会とアーティストの発表の場の拡大を図る。

② 新進美術家作品展（再掲）

③ 県民会館ロビーコンサート（再掲）

④ 県内芸術家ロビーコンサート（再掲）

⑤ 新進芸術家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ（再掲）

⑥ ひょうご未来の芸術文化人材創出事業（再掲）

4 情報の提供

(1) 文化情報紙「すずかけ」の発行

当協会の広報紙として定着してきた「すずかけ」について、ホームページとの連携強化を図るなど、紙面リニューアルを検討する。

【内容】 芸術文化協会の事業紹介、文化関係者の活動紹介、県内のイベント情報等

【発行】 毎月1回／5,000部

【配布先】 文化会館、美術館、博物館等の文化施設、市町文化担当課、友の会会員ほか

(2) 文化情報の提供

兵庫県民会館に文化情報紙、県内施設等の催物案内チラシなどを配架し、多彩な文化情報を提供する。

(3) ホームページの運営

協会概要や本部の情報提供のみならず、芸術文化センター、ピッコロシアター、県民会館、原田の森ギャラリー、横尾忠則現代美術館の各ホームページにリンクし、各施設の公演、展覧会事業等を幅広く紹介することにより、施設、事業のPRとともに文化情報の蓄積・発信・共有を促進する。またネット上で展示品を鑑賞できるバーチャルギャラリー“Walk360”を活用した画像提供をする。

(公財)兵庫県芸術文化協会 (<https://hyogo-arts.or.jp>)

【内 容】・協会の概要

- ・協会主催事業等の案内
- ・管理施設の案内

(4) その他多面的な広報活動

① SNSの運営

・YouTubeチャンネルで動画配信をするほか、Twitter、Facebook、Instagramを活用して、情報発信を強化する。

② マスメディアによる情報提供の強化

・テレビ、ラジオ、新聞等への記者発表、資料配布など

③ 県広報媒体の活用

・兵庫県広報紙「県民だよりひょうご」、サンテレビ県民情報番組「ひょうご発信！」兵庫県広報戦略課 Facebook「はばタンなび」等

④ 県内文化施設等多様なチャンネルを活用した情報提供

・兵庫県生活文化大学で共催している県立美術館、県立歴史博物館、県立考古博物館等の施設と連携してPRを行うほか、県内の文化施設や図書館、各教育機関を通じて情報発信を行う。

〔県立美術館王子分館関係〕

県立美術館王子分館の管理・運営

兵庫県立美術館王子分館の指定管理者として、横尾忠則現代美術館での展覧会、公開制作やコンサートなど各種催しを開催し、芸術文化に関する情報発信を行うとともに、原田の森ギャラリーでは、地域のプロ・アマチュア芸術家や県内芸術文化団体の発表の場としての役割を果たせるよう管理・運営に努める。

- 【所在地】 神戸市灘区原田通3丁目8番30号
- 【施設】 〈原田の森ギャラリー〉 本館（1・2階展示室、収蔵庫）
東館（1・2階展示室、収蔵庫地下1階・地下2階）
会議室（2室）、講義室等（3室）
- 〈横尾忠則現代美術館〉 アーカイブルーム、展示室（2・3階）、
オープンスタジオ、ミュージアムショップ、
インフォメーション、収蔵庫（地下1階）
- 〈喫茶棟〉
- 〈附属駐車場〉 31台（時間貸し）

1 原田の森ギャラリーの管理・運営

（1）貸しギャラリー等の実施（拡充）

当施設は、公立美術館としては全国最大規模のギャラリーを有している。明るく開放的かつ快適な空間の展示室が利用者から好評を得、高い利用率を保っている。

ホームページやSNS媒体等による広報を行い、絵画教室に加え、コンサート等多様な創作・発表活動の場の提供を行う。

また、施設予約システムの新たな導入により、申請手続きの簡略化、デジタルサイネージによるイベント情報の自動掲示等を実現し、利用者の利便性を図る。

さらに、整備を終えたWi-Fi環境を活用し、展示室等からイベント内容を外部配信するなど、今後も新型コロナウイルス感染症への対策を徹底しながら、ギャラリーのより一層の魅力アップに努める。

（2）ギャラリー運営会議の実施

広く公平・適正な利用を推進するとともに、効率的・計画的なギャラリー運営の円滑化を図るため、利用団体代表者を含む運営委員からの助言・提言を得るギャラリー運営会議を実施する。

（3）情報の提供・広報

- ① ホームページの運営 (<https://hyogo-arts.or.jp/harada>)
【内容】施設概要、展覧会情報、利用案内、空室情報 等
- ② SNSの運用（フェイスブック、ツイッター、インスタグラム）
【内容】即時性のある展覧会情報、イベント情報 等
- ③ 美術情報の提供
【内容】1階フロアに展覧会案内ハガキ、パンフレットを見やすく配置し、来館者に情報サービスの提供を行う。また JR 灘駅をはじめ近隣施設にギャラリースケジュールを掲示するなど、地域と連携しながら利用者増に努める。
- ④ 障害者アート作品の常設展示
全国的にも珍しい、障害のある方々の芸術作品等の発表、鑑賞機会の

拡大を目的とした「兵庫県障害者アートギャラリー（常設展示室）」を館内に設け、2～3カ月毎に作品を入れ替えて展示を行う。

2 横尾忠則現代美術館の管理・運営

横尾忠則氏の優れた作品等について広く県民に鑑賞する機会を提供するため、横尾作品を中心とする魅力ある展覧会を実施するとともに、『横尾芸術の一大拠点』として、横尾氏による公開制作や著名人との対談などのほか、企画に即した展覧会関連事業、ワークショップ、オープンスタジオコンサート、パフォーマンスなど、多様な表現手段を用いた美術館広報を展開し、若い世代をはじめとした新たな来客層への訴求にもつながる魅力を、当館らしく発信していく。

他方、動画配信等の充実により美術館への関心をつなぎ留めるなど、今後も続くであろう”With Corona”を踏まえた事業を実施していく。

(1) 横尾作品を中心とした展覧会の開催

当館は令和4年11月に開館10周年をむかえることから、令和4年度の展覧会を開館10周年記念として位置づけて、開催する。

展覧会名	第1期企画展	開館10周年記念 Forward to the Past 横尾忠則 寒山拾得への道
会期	令和4年4月9日（土）～7月18日（月・祝）87日間 （於：2・3F展示室）	
内容	横尾忠則の最新作「寒山拾得」シリーズを紹介する。近年患っている難聴と手の腱鞘炎の症状により、横尾の絵は自らが「朦朧体」と呼ぶように線の揺らぎと色彩の重なりに特徴がある。画業40年にしてたどり着いたこのスタイルは、実はこれまでに横尾が何度も試みてきたものだった。本展では、新作と過去作を合わせて展示し、その共通点を探ることで横尾が繰り返し試しては追い求めてきた絵づくりについて考察する。	
共催	神戸新聞社	
関連事業	キュレーターズトーク等	

展覧会名	YOKOOTADANORI COLLECTION GALLERY 2022 Part1	
会期	令和4年4月9日（土）～7月18日（月・祝）87日間 （於：4F横尾忠則コレクションギャラリー）	
内容	横尾忠則がコレクションしたマン・レイ(1890-1976)の作品等を展示する。	

展覧会名	第2期企画展	開館10周年記念 横尾さんのパレット
会期	令和4年8月6日（土）～12月25日（日）122日間 （於：2・3F展示室）	
内容	横尾作品の特徴である鮮やかな色彩に着目した展覧会。絵画作品をテーマや様式から解放して色で分類、展示室をパレットに見立てたインスタレーションでヨコオワールドを再構築する。また、使用済みのパレットや公開制作で使用した絵具など、作品が生まれる背景も合わせて展示する。	
共催	(調整中)	
関連事業	キュレーターズトーク、スペシャルライブ（新規；後述）等	

展覧会名	YOKOOTADANORI COLLECTION GALLERY 2022 Part2
会 期	令和4年8月6日（土）～12月25日（日）122日間 （於：4F 横尾忠則コレクションギャラリー）
内 容	（調整中）

展覧会名	収蔵品展	開館10周年記念 横尾忠則展 満腹腹腹満腹
会 期	令和5年1月28日（土）～2023年5月7日（日） 86日間 （於：2・3F 展示室）	
内 容	これまでに開催した企画展をダイジェストで振り返る展覧会。10年前の開館記念展「反反復復反復」のセルフ・パロディーでもある本展では、限られた展示空間に、これまで開催された29本の展覧会を限界まで詰め込むことを試みる。	

展覧会名	YOKOOTADANORI COLLECTION GALLERY 2022 Part3
会 期	令和5年1月28日（土）～2023年5月7日（日） 86日間 （於：4F 横尾忠則コレクションギャラリー）
内 容	（調整中）

（2）貴重なアーカイブ資料の整理・公開・展示

アーカイブでは、横尾氏のもとに保管されていたイラストやポスター、デザイン原稿はじめ、蔵書・関連記事の掲載誌、レコード収集品など多岐にわたる資料を受け入れ、順次、整理・公開していく。

資料整理をより円滑に行うため、博学連携として甲南大学（令和2年度 11名）の博物館実習生を平成26年度から受け入れている。

※ 武蔵野美術大学美術館・図書館と掲載雑誌資料の調査及びデータベース構築を目的とした共同調査事業を行ってきた連携事業は、調査完了により令和元年度で終了

※ 令和3年度の神戸芸術工科大学インターンシップ生の受入れは、新型コロナウイルス感染拡大により中止

① 整理

整理済み資料に関する情報は、横尾忠則現代美術館 HP にて「整理済みアーカイブ資料リスト」として一覧を公開。

※ 登録済の資料：3,775点(令和4年1月末)

② 公開

整理済み資料については閲覧に供する。（無料、要予約、個人への貸出不可）

③ 展示

企画展等での展示に供している。

（3）作品・資料等の保存・修復活動（拡充）

収蔵作品及び資料の劣化要因（温湿度、光、空気汚染物質、有害生物など）を制御、排除することで、館内環境を良好に保つよう努める。保存・修復に際しては、作品の現状維持修復を原則とし、オリジナルの価値を損なわないように配慮しながら、展示・他館貸し出し等に応じ、修復措置を行っている。（3年度：55件件実施）

また、横尾氏と親交のあった故瀬戸内寂聴氏のコレクション（近現代美術等38件）を新たに収集する。

(4) 県民プレミアム芸術デーの実施（新規）

県民の芸術文化に触れる機会を充実するため、県立術文化施設の無料開放等を行う県民プレミアム芸術デーを実施する。

- ① 無料開放 7月12日～17日(6日間)
- ② スペシャルライブ(「横尾さんのパレット」関連事業として実施)

(5) オープンスタジオ等を活用した多彩なイベントの実施

① 企画展関連事業

横尾氏本人による公開制作(コロナの状況に応じてZ o o m等による配信を含む)、企画展ごとに横尾氏と密接な関係のある著名人とのトークショーやライブ、キュレーターズトーク、ワークショップ、講演会等を開催する。

② オープンスタジオコンサート

協会本部のアーティストサロン及び芸術文化センター楽団部等の協力を得て、県内を中心に活動する優れた音楽家等によるコンサートやアーティストによるパフォーマンスを実施し、美術館のにぎわいづくりと新たなファン層の拡大をめざす。

※ コロナ禍においては、人数制限による開催のほか、オープンスタジオ内での演奏会という形式にとらわれることなく、前庭や隣接する原田の森ギャラリーの活用も含め、柔軟に多彩なジャンルを取り入れたイベントを催し、賑わいづくりを展開していく。

③ ユーチューブでの動画配信事業等

公式ユーチューブチャンネル(令和2年8月開設)において、ギャラリートーク(字幕:日・英)のほか、展示室の横尾作品をバックにしたパフォーマンスなど、コロナ禍ならではの映像の制作・配信等を行っていく。

(6) 連携によるにぎわいづくり

① 地域との連携

(ア) 地域住民・商店街等との連携

ポスター・チラシ配布、地域イベント(灘区総合芸術祭、六甲ファミリーまつり、美かえるカラフルマルシェ)でのPRや地域の子どもたち向けのワークショップの開催、水道筋商店街・王子動物園(令和2年度に連携協定を締結)等とタイアップしたイベント等の実施。

- ・(新)「三田村管打団?」パレードの水道筋商店街での実施

(イ) 周辺施設との連携(神戸文学館、灘区民ホール、王子動物園、BBプラザ美術館等)

- ・ 相互のポスター・チラシの掲示・設置、開会式への招待等を実施
- ・ 六甲ファミリーまつりや灘区総合芸術祭等への参画

② 学校との連携

- ・ 芸術系大学を中心に団体受け入れ、学芸員の案内を実施
- ・ 地元高校の美術部員等を展覧会に招待
- ・ 学芸員によるアウトリーチ活動(出前講座、オンライン授業等)

③ 他館との連携

(ア) 神戸市内美術館で構成する「KOBE MUSEUM LINK」との連携

共同ホームページの作成、デジタルスタンプラリーによる広報等

(イ) ミュージアムロードを構成する主要文化施設

県立美術館本館、原田の森ギャラリーはもとより、近接する神戸文学館や神戸市立王子動物園、ミュージアムロードの中間点に位置するBBプラザ美術館等と連携し、ポスター掲示、チラシの設置、県立美術館とは半券提示で割引制度を相互に協力している。

(ウ) 国内外の美術館等

豊島横尾館、西脇市岡之山美術館、国立新美術館、東京都現代美術館、愛知県美術館、上海当代芸術博物館等、国内外美術館等との広報連携を推進していく。

(7) 情報の提供・広報

マス・メディアや交通広告はじめ、インターネットの活用など様々な媒体を通じて広く広報を実施。また横尾氏の国内外での知名度・評価も高いことから、全国誌への掲載働きかけや展覧会図録の英語バージョンや多言語発信など国際広報にも努める。

① 知事定例記者会見での発表、記者説明会の開催

② テレビ・ラジオのニュース・特集番組、新聞等マス・メディアの活用

③ 芸術・旅行分野の全国紙への掲載働きかけ

(新) 雑誌・美術手帖でのタイアップ広告掲載 (5月頃予定)

④ インターネット等による当館情報発信

ホームページ (令和3年3月にリニューアル/多言語対応)、YouTube チャンネル
ツイッター、フェイスブック、メールマガジン、美術館ニュース、インスタグラム、
SNSによる広告配信 等

⑤ 交通広告等による広報

JR、阪急、山陽への広報、三宮センター街・JR三宮駅交番北側への看板掲出、
ICOCA/JAFとの提携・割引を実施するほか、訪日外国人が多く利用する神戸シティループバスへの広告掲載を行う。

⑥ 横尾氏本人によるPR

テレビ出演、雑誌対談、ツイッター (33.5万フォロワー) などのほか、横尾氏の
コラボ・ブランド(GUCCI、ISSEI MIYAKE、UGG、SWATCH
等) を当館広報に活用

⑦ 館長によるトップセールス (テレビ、ラジオへの出演、講演会におけるPR)

⑧ キャッシュレスへの対応

JTB電子チケット、Sonoligoでの館外チケット販売、クレジットカード等による
キャッシュレスチケット販売の実施

公益目的以外の施設提供事業

1 施設の管理運営事業

(1) 兵庫県民会館

令和4年度も引き続き指定管理者として、当協会が兵庫県民会館の管理運営を担うこととなっている。令和2年度から新型コロナウイルス感染防止対策として、

- ・会館出入口でのサーモカメラ・消毒液の設置や入退館動線の設定
- ・施設改修（トイレの水道蛇口・男性小便器のセンサー化等）
- ・会議室等利用者への感染防止対策の徹底及び対策物品の貸出
- ・「兵庫県新型コロナ追跡システム」QRコードの各会議室掲示
- ・LAN・Wi-Fi等による館内通信環境の向上によるネット会議対応

一などの取り組みを順次、強化し、利用者の安全・安心、利便性・サービスの向上を図ってきた。

令和4年度も新型コロナ対策に万全を期す一方、コロナ禍終息後に向けて利用動向を見極めながら、現在低調な夜間会合の誘致などに取り組み利用料収入の向上を図るとともに、運営経費のコスト削減や経営の合理化に努め、県と協定した9,510万円の還付と併せて、県民が芸術文化に親しむ環境の充実を目指していく。

【所在地】 神戸市中央区下山手通4丁目16番3号

【施設】

- ・パルテホール（11階）（定員 150人）
- ・けんみんホール（9階）（客席数360席）
- ・会議室（18室）
- ・集会室（3室）
- ・宴会室（3室）
- ・団体事務室（23団体）
- ・時間貸駐車場（37台）
- ・月極車庫（44台）
- ・営業店舗（2業者）
- ・アーティストサロン
- ・兵庫県民アートギャラリー

1階 特別展示室（78㎡）
2階 大展示室（346㎡）、中展示室（176㎡）、小展示室（50㎡）

① 新型コロナウイルス感染症への対応（拡充）

新型コロナウイルス感染防止のため、上記の取り組みに加え、毎月初日の一斉申込受付方法を事前申込方式への変更、利用料金支払でのキャッシュレス対応等の取り組みを進め、この3月からはクレジットカードや電子マネーにも対応した多機能決済端末を新たに導入している。さらに兵庫県のデジタル改革課が調整を進めているオンラインでの兵庫県公共施設予約システムの導入について、既存予約管理システムとの整合性を確認しながら検討を進めていく。

また、館内のLANやWi-Fi設備、通信回線容量の強化も図っており、「3密」を避けるべく需要が増加しているオンライン会議の取り込みをさらに進めていく。

② ギャラリー・ホールの利用促進及び情報発信の強化

令和3年1月にリニューアルした県民アートギャラリーについて、令和3年3月から運用しているパソコンやスマートフォンで展示品を鑑賞できるバーチャルギャラリー“Walk 360”等を通じたPRや、特別展示室の空き期間を活用した作品展示などによる賑わいづくりなどにより、コロナ禍のもとで低調に推移している利用率の向上をめざす。

芸術文化関係者が、公演またはリハーサルや練習会場としてけんみんホールを夜間に利用する場合、利用料金の50%を助成する社会実験を継続し、芸術文化の振興と夜間利用率の引き上げを図る。

また、県民会館のホームページやSNSも活用し、空室情報、催物などの情報を

提供する一方、ロビー設置のモニターや情報コーナーでの閲覧等により、多彩な文化情報を提供する。

③ 施設・設備の老朽箇所等の長寿命化等

老朽化した建物、設備を長持ちさせるための修繕工事や定期点検・メンテナンスを適時・適切に実施するとともに、喫茶コーナーや地下1階イトインコーナーの利用促進を図り、会館の快適性や利便性の維持・向上に努める。

④ ギャラリー運営会議の開催

広く公平・適正な利用を推進するとともに、効率的・計画的なギャラリー運営の円滑化を図るため、絵画、美術・工芸、書等の専門家で構成されるギャラリー運営会議において、貸出計画案の承認を得る。

(2) 駐車場等

① 駐車場等の運営

各施設への来館者の利便性に配慮した有料駐車場の運営を行う。

・兵庫県民会館	：（時間貸）	収容台数	37台
	（月極）	収容台数	44台
・芸術文化センター	：（時間貸）	収容台数	約100台
・県立美術館王子分館	：（時間貸）	収容台数	31台

② その他、施設利用者の利便向上への取り組み

- ・喫茶、レストラン等スペースの貸出（兵庫県民会館、芸術文化センター、ピッコロシアター、横尾忠則現代美術館）
- ・関連グッズのショップ設置・運営（芸術文化センター、横尾忠則現代美術館）
- ・飲料自動販売機の設置（兵庫県民会館、県立美術館王子分館）
- ・図書頒布販売、他主催入場券等の受託販売（兵庫県民会館）